

FUKUCHI

Public
Relations

NO.24
December

広報ふくち

地底が揺れた。

大正3年12月15日、その事故は起こった。

2007
12

日本史上最大の
炭鉱爆発事故。 特集

方城大非常

671人。それ以上の死者を出したともいわれる事故が、突然この町をおそった。
大正3年12月15日に発生した「三菱方城炭鉱 ガス炭じん爆発」。
しかし、もはや、その惨状を目のあたりにした人はいない。
この事故があったことさえも、忘れ去られようとしている。
かつて筑豊では、坑内災害を日常と反して「非常」と呼んだ。
痛ましい炭鉱災害史の中で、この事故は「方城大非常」と叫ばれる大惨事だった。
93年前に起きた日本史上最大の炭鉱爆発事故は、わたしたちに何を語りかけるのだろうか。
地底の闇に閉ざされた炭鉱史の底に、何が見えるのだろうか——

第一章

その時

→ 炭鉱災害で日本最大の犠牲者を出した「方城大非常」。事故直後、三菱方城炭鉱の正門前には安否を気遣う家族が押し寄せた。大正3(1914)年12月15日の事故当日撮影。写真/毎日新聞社

※ 特集の中の「炭鉱」や「炭坑」などの表記は、基本的に、当時の用字用語を使用しています。



轟音

【爆裂の波動】

「大事ばい」。ただの非常ではないことは、だれの耳にも明らかだった。大正3年12月15日、午前9時40分。筑豊炭田、三菱方城炭鉱での大爆発。大地を裂くようにとどろいた音が、この町と人と心を大きくゆるがした。中空で渦巻く黒煙に、人々はおののいた。その時、何が起こったのか。炭鉱で活気づく町を涙と悲痛に一変させた日本最大の事故と向き合う。

東洋一の堅坑

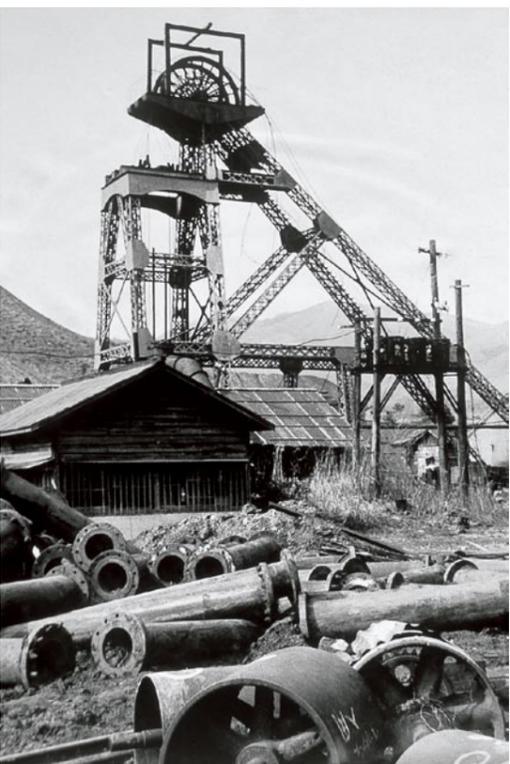
— 筑豊炭田屈指の新式大炭鉱

のどかな農村に現れた巨大な鉄塔。高さ21メートル、見上げるほどの櫓が川筋を見渡すようにそびえました。

筑豊炭田に進出した三菱合資会社は、明治29年からの炭層調査を経て明治35年に方城で堅坑の建設に着手します。それまでは、ほとんどの炭鉱が坑夫（坑内作業員）の昇降を斜めに行う斜坑でしたが、三菱方城炭鉱は深部の良質な炭層を採掘するため、新式の堅坑方式（直下型）

を採用しました。深さ270メートル、当時、東洋一の深度を誇りました。明治41年に第二坑、その2年後に第一坑が完成し、筑豊炭田のトップを切った大型堅坑がこの地に立ったのです。

福智山を背景に、誇らしく立ち並んだ両堅坑と赤レンガの煙突は、たちまち「炭都・筑豊」の象徴として、もてはやされました。方城炭鉱は、明治41年に12万トンの、5年後の大正2年には26万トンの出炭し、めざましい躍進をとげます。方城村も農村から炭都の一角として様相を変え、炭鉱景気にわかさえりました。



三井田川、日鉄二瀬とともに明治期の「日本三大堅坑」とされた三菱方城。当初その規模は鉱業界を驚かせた。明治45年に発電所を開設し、出炭量をさらに伸ばした。

真つ黒なキノコ雲

— 雷が地底をほうような衝撃

方城炭鉱が開鉱してから6年が過ぎた大正3年、第一次世界大戦が勃発し、日本が8月に参戦します。その主要なエネルギーを産出する筑豊も、あわただしく年末をむかえようとしていました。12月15日、みずゆき（みぞれ）が降ること以外は、いつもとかわらない朝でした。

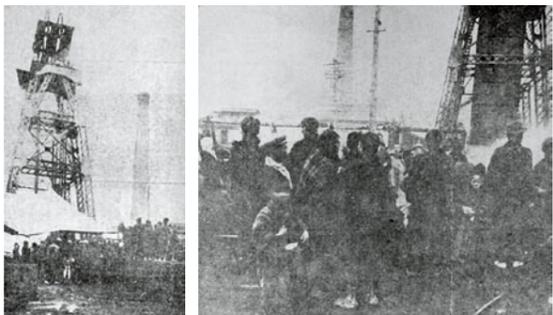
方城炭鉱近くの伊方尋常小学校では2時間目の授業をむかえ、子どもたちが教科書を開いてまもないころ。時計の針は9時40分を指そうとしていました。

「ドドン」。大地が裂けたようなすすまじい音。窓ガラスが破れ、チョークが跳ね上がり、教室は悲鳴につつまれました。窓の外に見えるはずの櫓が、吹き上がった黒煙に覆われ、地底からの煙は渦を巻きながらしだいにキノコ状の雲となって上空に広がっていく…。まもなく、あたりから「非

常や、非常」と叫ぶ音が響き渡りました。当時の証言や新聞記事では「雷が地をほうようにして、一気に吹き上げた」「巨砲10数門を一度に発射したようだ」「8 km四方まで響いた」と、すすまじい爆発音が伝えられています。

常や、非常」と叫ぶ音が響き渡りました。当時の証言や新聞記事では「雷が地をほうようにして、一気に吹き上げた」「巨砲10数門を一度に発射したようだ」「8 km四方まで響いた」と、すすまじい爆発音が伝えられています。

常や、非常」と叫ぶ音が響き渡りました。当時の証言や新聞記事では「雷が地をほうようにして、一気に吹き上げた」「巨砲10数門を一度に発射したようだ」「8 km四方まで響いた」と、すすまじい爆発音が伝えられています。

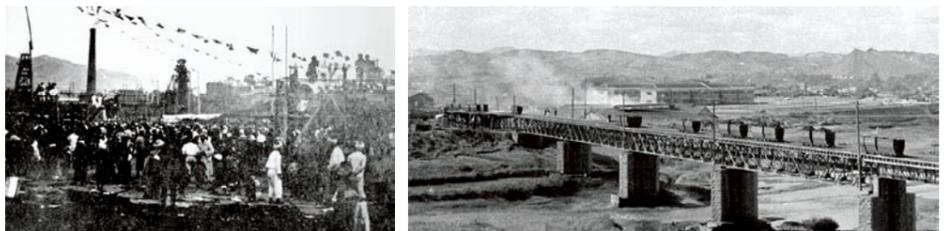


周囲が吹き飛んだ爆発後の坑口に坑夫の家族が悲痛な面持ちで押し寄せた。この衝撃で彦山川の対岸にあった三菱金田炭鉱で落盤が発生、1人が死亡、1人が重傷を負った。写真/福岡日日新聞（西日本新聞社の前身）

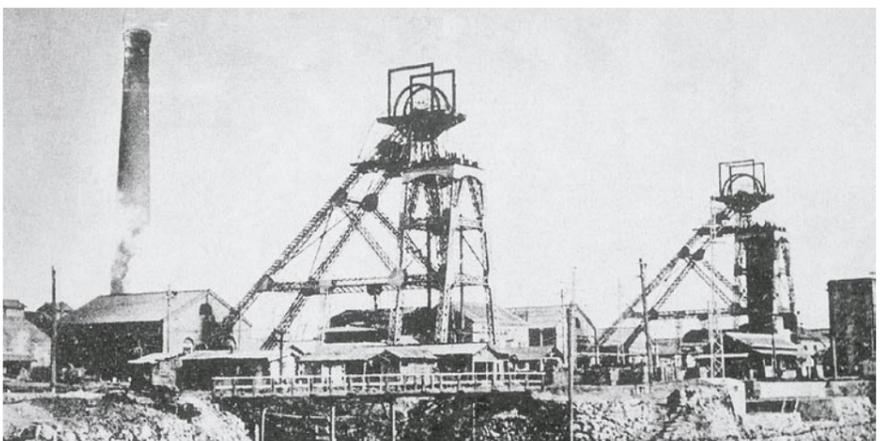


坑内爆発（炭じん爆発）によって巻き上がった噴煙。方城炭鉱の爆発事故は、この写真をはるかに上回る規模だったと想定される。写真/田川市石炭歴史博物館

↓明治41年の堅坑完成時のもち投げ、炭層調査から12年もの年月をかけた。【写真右】明治37年には早くも金田駅へと石炭輸送用の鉄道引込線が敷かれ、彦山川に鉄橋が架かった。奥に見える建物は金田小学校。三菱は明治43年に金田鉱も買収した。



→明治期の採炭現場では、手掘りの採掘が行われた。田川市石炭歴史博物館。【写真下】三菱方城炭鉱の象徴となった両堅坑と赤レンガの煙突。



坑底から響いた「うごめく声」。少年は全身を打ちのめされた気がして、思わず後ずさりした。

その猛烈な威力は「坑口から10メートル離れた煽風機室が壊れ、四散したレンガの破片が60メートル先の事務所ガラス戸を打ちやぶって飛び込んだ」「昇降機が櫓の上まで噴きあげられた」「地上では坑口から約2百メートル以内の人が歩いていて倒れるほどだった」などと記されています。

明治33年生まれの手島直信さん（弁城・平成3年没）は当時伊方尋常高等小の高等科1年生（現在の中一）。学校から事故現場まで走り、ロープ越しに坑口から底をのぞきました。

「悲鳴とも、叫びともいえないげな切ない声、つぼした（坑底）から聞こえてきた」と、のちに語っています。

パニック状態の「直方七番」ロープをすぐに



爆風で飛んだレンガでガラスが割れた事務所の電話「直方七番」は、事故発生以来、休まるヒマがありませんでした。事故当日を含む3日間で1千400通の電報が行き来し、金田駅の鉄道の乗降客は4千402人を数えます。現場では悲報でかけつけた坑夫の家族を整理するため、正門から下風坑の坑口に向かってロープが2本、2メートル幅に張られていました。金田商店街の三村本店は「非常や非常、ロープをすぐに」と、しぼり出すような悲痛な声で連絡を受けています。店主と従業員数人がすぐさまロープを手を駆けつけ、その後、現場では吹き出しを行ったといいます。



方城炭鉱からの連絡の話を祖母から聞いた三村真作さん（金田新町）

インタビュー

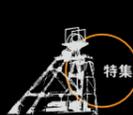
地底の声を聞いた手島直信さんの子

手島直信さん（弁城 新町）



坑口から何とも表現しがたい、うめき声のような声が聞こえたと父は語っていました。わたしも三井三池の炭鉱爆発で友人を失いましたが、その悲惨さや遺族の心痛は相当なものでした。さらに大規模な方城大非常は、我々では想像もつかない惨状だったと思います。

うなり声やしぼり出すような声が入り交じった息もたえだえな叫び…。直径約5メートルの坑口から響いてくる声に「全身を打ちのめされた気がした」といいます。彼はその場にいたたまれなくなり、思わず後ずさりしました。「大事ばい」。激しくなる身震いは、当分おさまらずにありませんでした。



夏みかん

【無情と決死】

ついに起きてしまった。とてつもない爆発だった。何人が生きているのか。うちの人は、父ちゃんは、母ちゃんは……だれもが家族の無事を祈った。つるあせり、いらだち。救助も命がけだった。



↑昇降口から見上げた堅坑槽。ここから坑底までは地下およそ270mもあった。234mの福岡タワーより36mも高い位置から夏みかんが投下されたことになる。

すぎる思い

「見えない坑底に非常のあせり」

大非常に直面した坑長の吉澤一磨は、捲揚場付近に対策本部を設置し、ひたすら事態の収拾にあたりました。

まず、なによりの急務は、爆発による坑内の火災をおさめることでした。吉澤は排気坑を密封して火を消し止めた後、巨大な扇風機の回転数を最大に上げて、煙を外に出します。噴煙がようやく見えなくなったのは、爆発後5時間を経た午後2時半ごろ。その間、昇降機が修繕されました。

昇降機を降ろす前の、その時です。大量の「夏みかん」が次々と坑内へと投げ込まれました。夏みかんの酸でガスを中和させようとしたのです。このため商店や農家からは、保存用の夏みかんが一つ残らずかき集められました。

ガスと中和させるために投下した夏みかん。しかし有効な化学反応のない、無情な行為だった。

九人の決死隊

「救いの手も届かずに」

↓水でぬらしたミノやムシロで身を包み決死の入坑を図る。写真/方城町と炭鉱



「決死隊」を募ったところ、数十人が名乗り出ます。午後1時、選抜された9人の決死隊は、夏みかんを口にくわえ、鼻で息をしながら、また薄煙をく、坑口から降りていきました。しかし、充満するガスで9人はまもなく窒息。地上に運ばれて手当てを受けますが、そのうち5人が命を落としてしまいました。

煙がおさまった午後2時半ごろ、決死隊に次ぐ「捜索隊」が送り込まれます。しかし堅坑の破損がひどく、坑底まであと6〜7メートルのところ昇降機が停止。隊員は助けを求める生存者の声を真下に聞きつつも、引きあげざるをえませんでした。坑底付近の補修は遅れ、やがて用意されたハシゴでどうにか坑底に達します。



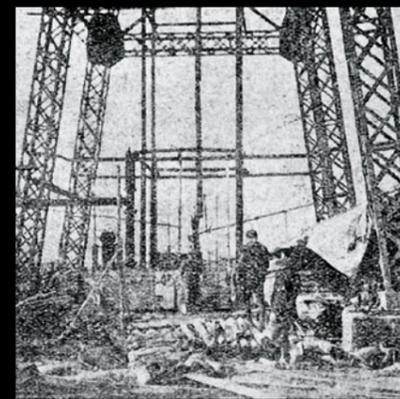
↑方城大非常の遺体搬出の様子。事故当日の12月15日午後4時に1人目の遺体が上がった。写真/福岡日日新聞(西日本新聞社の前身)

車やレール、坑木などが爆風によって四散し、落盤やガスの充満などで、途中から前進不能でした。まもなく吉澤坑長がガスで意識不明となり探索は中断、幸い坑長は人工呼吸で息を吹き返しました。17日早朝、新たに180人以上の救援隊が組織され、大規模な救護活動が試みられますが、落盤の影響で通気が乱れ、修繕用の資材も運び込むことができず、ついに救助の手は八方ふさがりとなり、生存者の救出に全く手が出せない状態となります。坑底には炭鉱側発表の入坑者6百数十人がいましたが、そのほとんどの救出が絶望的となりました。

夏みかんを口に決死の入坑。救助の手は、なすすべもなく絶望のふちに立たされた。



レンガ塀が衝撃で壊れ、坑木が噴き上げられた坑口(写真左)。事務所前には犠牲者氏名の掲示場が設けられた(写真上)。写真/福岡日日新聞(西日本新聞社の前身)



「いったい、あれだけの夏みかんを短い時間でどこから集めたやろうか」と父が話していました。とにかく、とてつもない量の夏みかんが、坑口から投げ込まれたようです。遺体があがる現場は、思わず目を背けてしまうような悲惨な状況だったと、父から聞いています。

インタビュー

夏みかん投入を目撃した池本喜代蔵さんの子

池本正義さん (伊方局通り)



炭鉱時代の格差 我部堂と百円坂

犠牲者の遺体は地元の人土葬で、遠方からの出稼ぎの人は火葬にされました。火葬場は「我部堂」の裏と、今はない「湧淵池」。我部堂の裏には幅2メートルほどの細長い溝穴が掘られ、それに沿った4本のレールの上で、棺が石炭を燃料に焼かれたといわれています。

坑夫の葬儀に比べ、炭鉱職員の社葬は盛大なものでした。花輪が職員住宅街のあった西購売(現購売バス停付近)から事務所まで連なっていたといいます。この坂は職員の高給取りを指して「百円坂」と呼ばれてました。坑夫が休みなしに働いて月給20円ほどの時代でした。



16歳ほどの若い修験僧が厳しい修行で亡くなった場所と伝わる「我部堂」。地域交流センターの裏側にあたる。

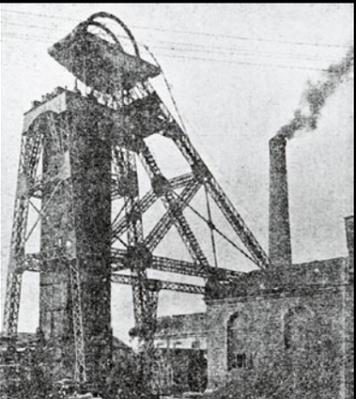


九州日立マクセルや赤レンガ記念館に続く現在の百円坂、桜並木の名所として知られる。

明治35年生まれ池本喜代蔵さん(伊方・昭和53年没)は「2人の係員が、カマス(袋)に入れてある夏みかんを半分に切り、それが撰炭用のザルで運ばれて、坑口からどんと投げ込まれよった」と、その場面を目撃しています。

しかし、この夏みかん投入は化学的に全く無意味な行為でした。事実、夏みかんに含まれる多量のクエン酸と坑内のメタンガスや一酸化炭素などの間では、何ら有効な化学反応は示されません。

しかも、坑口から坑底までの高さは270メートル。落下の衝撃が強く、真っ暗闇の坑底では存命の人がパニック状態になったといえます。「何かにすがってでも助けてい」という現場の思いとあせりがこの夏みかん投入から伝わってきます。



←救助入坑の前、意を決して坑口のそばに立つ池田亀三郎坑内主任。写真/福岡日日新聞(西日本新聞社の前身)



↑ひとたび雪をかぶると、ため息が出るほどに白く輝いた方城の炭鉱住宅。その露地には、大非常で塗炭の苦しみを味わった人々の涙と悲しみがしみこんでいた。家族との別れの冬を耐えた子どもたちは、どこで、どんな胸の火を燃やして生きてきたのだろうか…。

黒い粉雪

←遺族の悲痛な声が響く。日本の炭鉱はどれだけの犠牲を生んできたのか。昭和に入っても坑内事故は後を絶たなかった。(三井三池炭鉱の遺族)

乾かない露地

—涙と途方に暮れた遺族



「今あがりよるぞ」「今あがったぞ」。遺体が次々と昇坑されました。筑豊のヤマ(炭鉱)では、霊を導くため、搬送する遺体場所を呼びかける習わしがありました。その声を耳にするたび、帰りを待つ家族の胸は悲しく揺れ動ききました。「遺体は4体ずつ重ね、合計8体を昇降機で上げよった」と、遺体引きあげの光景を池本喜代蔵さんは語っています。方城炭鉱発表の犠牲者数は671人、うち約2割が女性で、11歳から18歳が71人(男44人・女27人)もいました。孤児の数は94人。2か所の孤児院が急造され、24人の保育士が昼夜つきっきりで世話にあたったと伝えられています。身内がいる以上、遺体には遺族の確認が必要でした。「ちがう、父ちゃんやな

冷たくかわりはてた親の前で、幼子は崩れるようにして泣いた。雪をぬぐった手が、黒くにじんだ。

き刺さっていたといいます。坂本さんにはまだ乳飲み子の次女がいました。この大非常のショックと看病で妻・トメさんの心労がかさみ、母乳が止まってしまいます。その結果、次女サカエちゃんは栄養不良からついに他界。

大非常の隠れた犠牲者となりました。年を越えても方城村の空に焼香と火葬の煙が漂わない日は1日もありませんでした。遺体の捜索はなおも続き、翌年1月6日には496番目の遺体があげられます。うわさでは死者が千人を超えて

↓大非常で最愛の家族を失い、竹馬を横にふさぎ込んでいる孤児たち。写真/田川市図書館



「無言の再会」

い。父ちゃん、は、こげな格好やなかつた。親の遺体を前にしやがみこむ子、棺の中を確認して泣きながら職員の間いかけにうなずく子…。大非常で父や母を失った人は303人におよびました。

女手一つで育てた3人の息子を失った岩本リエさんは、坑口の側に立ちつくし「息子をかせせ」と声をかぎりに数日間叫び続けました。坑口に飛び込まんばかりの彼女の様子を係員がつきつきりで見守ったと当時の新聞に記されています。乳飲み子を背負ったまま夫の遺体にとりすがって泣く人。「あがり酒ばい」と語りかけ、涙をぬぐいながら遺体に酒をふりかける人…。方城炭鉱の露地は乾くまもなく、遺族の涙を吸い続けました。事故翌朝の12月16日、発見場所や名前を記した板を掲げた少年が、タンカに

絶望との対面。変わりはてた遺体が昇坑するたび、むせび泣く声が方城のヤマに響いた。明日からどうやって暮らせばいいのか。僧侶が休むまもない読経に声をからす。やがてヤマ中が悲しみの香煙に包まれていった…。

乗せられた遺体の先頭に立ち、帰りを待ちわびている家族の目の前を次々と通り過ぎていきます。気がつく、櫓のすき間からは、粉雪がはらはらと落ちていました。そのとき、雪をぬぐった手がたちまち黒ずんだといいます。それは、黒い雪でした。爆発で舞い上がった黒煙が溶け込んだ粉雪でした。

ゆらめくかがり火

—一年が明けても心の悲しみは明けない

方城炭鉱発表の生存者は21人。生還後まもなく一酸化炭素中毒で亡くなった人もいました。橋元光子さんの父・坂本藤市さんは、数少ない生存者のひとりでした。足を被災した坂本さんを衝撃で目が見えなくなった見下多十さんが背負い、目が見える坂本さんの指示に従って坑底にたどりつき、救助されたといっています。やがて坂本藤市さんは、方城炭鉱の医局に入院。しかし、背中痛みは、日がたつにつれ、ひどくなる一方でした。医師があらためて診察したところ、背中には爆風で飛んだ坑夫の小指の骨が突



↑方城大非常で救い出された生存者(鉄工所の3人も含まれている)。前列左端が坂本藤市さん、前列右から3人目が見下多十さん。ともにポンプ座で働いていた。

インタビュー
数少ない生存者だった坂本藤市さんの娘

橋元 光子さん
(伊方 後谷)

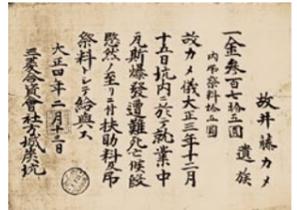
母は「次女をとうとう助けることができなかつた」と泣きながら三女のわたしに話してくれました。父は生存者の中で一番長生きし、74歳の命をまっとうします。ショックが大きかったのか、父は事故のことは口にせず、その後一度も坑内に下がることはありませんでした。



つるる悲しみと不安 遺族への見舞金

犠牲者の遺族には、三菱から見舞金(扶助料)が支払われました。その基準は、坑夫が300円〜600円まで、ほかに弔祭料(葬式代)が150円。職員、小頭、職工は300円から1千500円で、弔祭料は給料に応じて150円・200円・300円の3段階が設けられました。そのほか、故郷へ帰る遺族には交通費や宿泊費なども支払われています。これに加え、炭鉱への負債(借金)も免除されました。

1人平均約375円の見舞金が遺族に支払われましたが、これを坑夫の賃金に換算すると1年7か月分ほどにあたります。金額の多い少ないは、いちがいに言えませんが、働き手を失った遺族には、厳しい生活が待ち受けていました。



↑方城大非常の扶助料証書。(井藤さんは広島県北広島町出身の女性坑夫)

高さ3cm、幅1cmの小さな像。大非常の犠牲者が身につけていたこのお守りは、約270mの地底から噴き上げられていた。入坑寸前で運よく助かった出口松治さんが爆発直後に拾った。「この像が、わしの身代わりになってくれたかもしれん」と松治さんは常々語っていたという。観音像ともマリア像ともとれる一部がかけたこの像は、娘の出口クニエさんから「方城大非常」著者の織井青吾さんに渡り、現在は田川市石炭歴史博物館に展示されている。



第二章

謎

いつしか、闇のベールに閉ざされてしまった日本最大の炭鉱爆発事故。

いったい何人の尊い命が犠牲になったのか。なぜ大爆発が起きたのか。いまここで2つの謎に迫る。

忘れられたのか。

それとも、忘れようとしたのか。

この町であったことさえ広く知られていない方城大非常。

当時を知る人は口を閉ざしたまま、

この世から去ってしまった。

炭鉱災害史に最も多くの墓標を刻んだ大事故は、

その原因と結果でさえも「謎」に包まれている…。

爆発事故発生後の方城炭鉱の現場。この写真に写っている人々の声は、もはや聞くことはできない。写真／毎日新聞社



もうひとつの
その時。



→伊方小学校から方城炭鉱へと向かう勅使一行。この日、門司を出発した澤侍従は11時29分に折尾で下車し、遠賀郡役場で昼食。12時54分に金田駅に向けて折尾を出発した。



↑事故現場の方城炭鉱を視察する三菱の岩崎久彌会長(右から2人目)

最敬礼で迎えた勅使

勅使来村

悲しみの方城に天皇の使者。

大

非常の情報は、事故当日に大正天皇の耳に入りました。その2日後、見舞いとして勅使(天皇の使者で天皇の名代にあたる)差遣の知らせが新聞で伝わります。

このため、三菱合資会社の岩崎久彌会長(男爵)は、大正3年12月18日に新設でにぎわう東京駅から方城炭鉱に向かい、現場で細かい指示を出しました。勅使の来村は12月22日と伝えられ、侍従職の澤宣元男爵が勅使に任命されました。

子どもたちは傘もささず

当時、天皇は「現人神」とされ、神としてあがめられていました。その天皇の名代として勅使がはるばる来村するということです。方城村全体が異様な緊張に包まれました。

伝達の式場に講堂が建てられた伊方小をはじめ、炭鉱や納屋では大掃除が行われます。道は掃き清められ、伊方小の校舎前には白砂をまき、勅使用の通路には布が敷かれました。

12月21日、勅使の澤侍従は午前8時発の列車で東京駅を出発。翌朝下関に着き、船と汽車を乗り継いで、午後2時13分、金田駅に到着しました。

当日は雨が降っていました。金田駅には人力車20台が、伊田や直方からもかき集められ、郡長や筑豊の各炭鉱長、首長、議員らが出迎えます。伊方川の

ほとりから伊方小までの道の両脇に並んだ伊方・弁城の児童生徒およそ千人は、傘もささずに勅使一行を迎え、教師の「最敬礼」の号令で頭をさげました。

午後2時40分過ぎに勅使が伊方小に到着。講堂で御救恤金(天皇からの見舞金)が県知事に渡され「このたびの非常は、お国のために戦って戦死したのと同じである」との内容の聖旨(天皇からの言葉)が伝えられます。

休憩の後、澤侍従は同校を午後4時に出発し、方城炭鉱を40分間ほど視察。午後5時21分発の列車で金田駅をあとにしました。

このとき、勅使から下賜された御救恤金の2千円や義捐金は分配され、大正4年9月15日に遺族の手に渡されます。伊方小・弁城小の1千31人の児童生徒には、勅使から鉛筆が1本ずつ下賜されたと伝えられています。



↑右が勅使として来村した澤宣元侍従、左は谷口留五郎福岡県知事。伝達式は伊方尋常小学校の講堂で行われ、校舎2階の1号室が侍従、2号室が知事の控え室としてあてられた。

馬

の数はあつているのに、人の犠牲者数があわない……。今ではどうも考えられないことですが、方城大非常ではそうでした。

三菱方城炭鉱が発表した大非常の犠牲者は671人（男性540人・女性131人）。うち4人が決死隊員で、2人は救出後の死亡としています。亡くなった入坑者は667人。三菱炭業社史には当時の入坑者が688人と記されているので、21人が助かったことになりま

消えている納屋

— 新聞掲載のない複数の納屋の存在

当時は「納屋制度」といって、炭鉱が坑夫を直接雇用するのではなく、炭鉱と契約する各納屋が、坑夫を坑内へと送り出していました。

大正3年12月15日の事故後、各納屋が17日・19日・20日と3回にわたって入坑者名簿を事務所に提出します。その数は「福岡日日新聞」に掲載されましたが、3回とも人数はバラバラでした。しかも4百人ほどの坑夫を抱えていたという内海納屋をはじめ、山下、田尻、荒川などの納屋の人数があげられていませんでした。

千人以上の可能性

— 招魂碑を手がかりに算出すると……

かつて方城炭鉱の守り神とされた「山の神社跡」には方城大非常の犠牲者をまつた「招魂碑」があります。事故の翌年に三菱方城炭鉱が建立した碑です。その裏には671人の犠牲者を出したという碑文の後に「一坑一坑役夫約三千人」と刻まれています。

また、三菱炭業社史には「大正4年5月から一部採炭を開始し、労務者数も2千841人となり、大正5年の出炭量は22万3千トで、災害前の水準に復帰した」と書かれています。ちなみに大非常前月の大正3年11月は2万2千トの月産量でした。大正5年の平均月産量は約1万8千6百ト。出炭の能率面から見ても3千人ほどの坑夫がいたと十分に考えられます。

当時の坑内労働は一番方と二番方の、

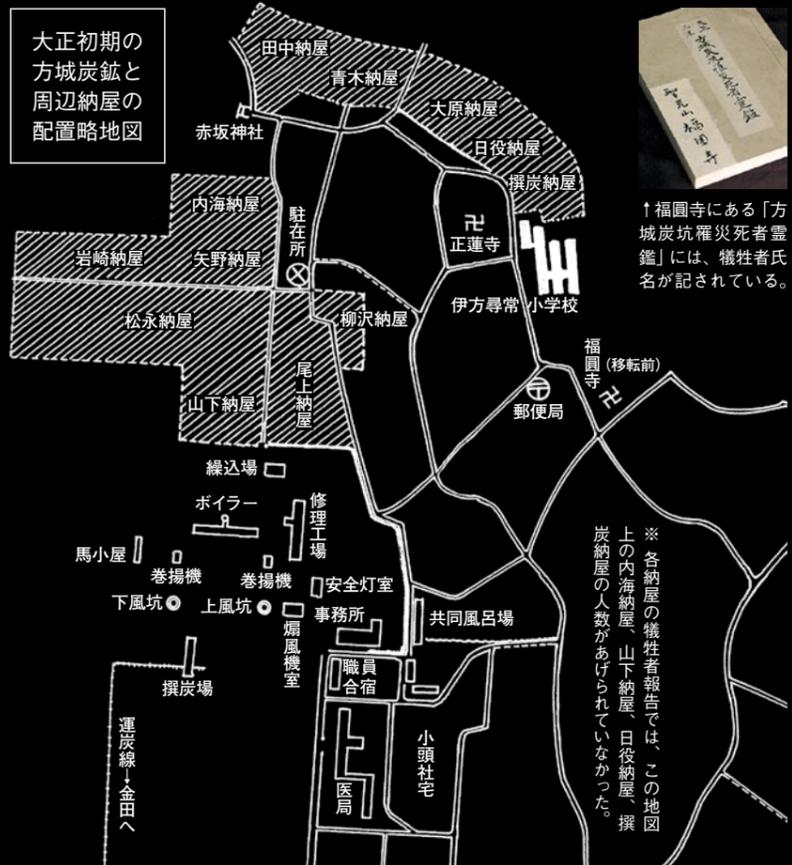
インタビュー

田川市石炭歴史博物館館長

安藤 龍生さん



千人以上の犠牲者が出た可能性は十分にあると思います。各納屋は入坑者数を把握できていないようですし、未報告の納屋もあるようです。いずれにしても方城大非常の犠牲者数は、発表された671人であっても、2位以下を大きく引き離す日本最大の炭鉱災害です。



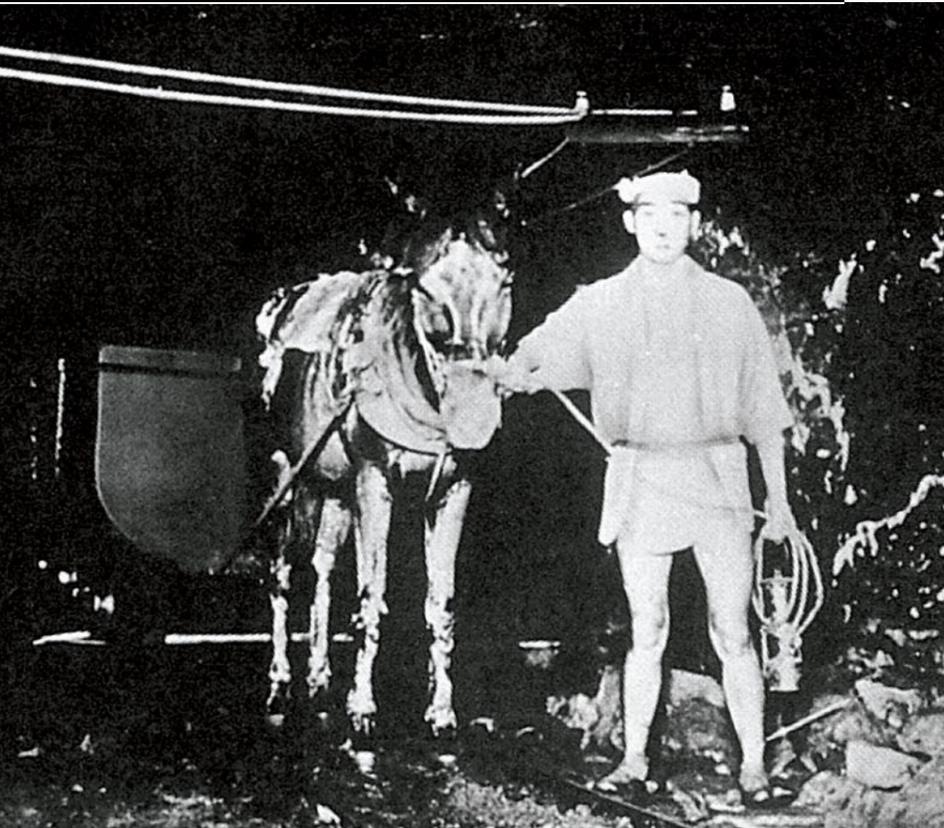
大正初期の方城炭鉱と周辺納屋の配置略地図

↑福圓寺にある「方城炭坑罹災死者霊鑑」には、犠牲者氏名が記されている。

※各納屋の犠牲者報告では、この地図上の内海納屋、山下納屋、日役納屋、撰炭納屋の人数があげられていなかった。

馬は十一頭、人は

いったい何人が命を落としたのか。当時の「うわさ」は本当だったのか。



当時、石炭運搬などで活躍した馬は、貴重な労働力だった。大非常の復旧作業では、筑豊一円の炭鉱から馬が無償で提供されたという。写真/田川市石炭歴史博物館

「方城炭坑罹災死者霊鑑」にない名前 松永義男の墓

我部堂の東側にある墓地には、大非常犠牲者の墓が数多くあります。その中にある松永義男の墓。彼は6百人以上の坑夫をかかえた大納屋・松永納屋のあととり息子でした。墓石には大正3年12月15日の命日に続いて「策郎長男 瓦斯爆発 変死 松永義男 十八才」と刻まれています。裕福な納屋頭の長男は、現場視察のために、たまたま坑内に入ったのでしょか。墓に自らの名前と息子の死因を記した納屋頭である父・松永策郎の無念さうかがえます。犠牲者で「霊鑑」に記載のない人が多数存在していますが、そこには松永義男の名も記されていません。



父の名と死亡原因が刻まれている松永義男の墓。



採掘現場は炭を掘る先山と運搬する後山がいて、後山は主に女性担当。昭和8年から女性と16歳未満の入坑が禁止された。写真/田川市石炭歴史博物館

2交代制（一部を除き12時間労働）。一番方の方が10対8の割合で二番方より多かったといえます。しかもこの日は「給料日」で、翌日の16日は月に2回ある「公休日」でした。もうすぐ年末で正月をひかえた12月です。そのような状況を見ると、いつも以上の人数が坑内にいたことは、だれもが想像するところでは

参考までに算出すると、坑夫3千人、一番方が少なめにみて1千6百人。坑内に入らない坑外夫がこの3千人に含まれていたとしても、およそ、どこ炭鉱も坑内夫8割、坑外夫2割の割合ですから、坑内夫は約1千280人。仕事を休む人がいても大非常当日に坑内にいた人数は「千人を超えていた」と想定することができます。

三菱方城炭鉱発表の大非常で助かった入坑者は、わずか21人でした。当時「千人以上が死んでいる」とささやかれた方城村のうわさも、まったく根拠のない話ではなかったのです。

「点」

火の原因と認められるものは発見できなかった。大正4年7月に三菱がまとめた「方城炭坑爆発調査報告」では、爆発原因が想定される12項目を検討した結果「原因不明」という結論が出されます。国内ではこのまま、近年まで方城大非常の原因は不明とされ「たばこの火が引火したのでは」とも言われてきました。

ところが、大非常の現場にかけつけていた福岡鉱務署の目黒末之丞技師は、大正4年4月にイギリスの「THE COLLIERY GUARDIAN」(コリエリー・ガーディアン)という鉱業雑誌で重大な発表をしていたのです。さらに、平成12年に北九州市の古書店で見つかった「方城炭坑瓦斯爆発調査復命書」(大正4年1月)にも目黒技師の発表とほぼ同じ内容が記されていました。

この目黒レポートによると、方城大非常の発火原因については①自然発火②落石③電気④ダイナマイト⑤マッチなどの携行品⑥安全灯の6項目について調べ、その結果、最後の⑥の安全灯に問題が生じたとしています。

安全灯193号

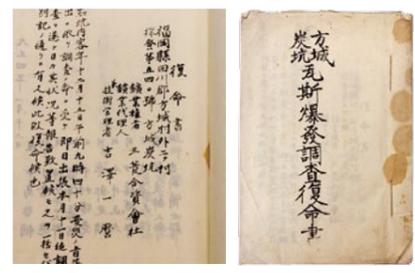
「ガスだけではなく炭じんによる爆発

目黒技師は坑内の様子や状況を科学的に調べ、爆発地点と思われる場所を中心に死亡坑夫の安全灯をくまなく調査しました。その中で、坑夫の根来要次、

郎氏が持っていた安全灯193号に目がとまります。安全灯のガラスの筒が完全だったにもかかわらず、金網の内側にコークスの粉末(炭じんの燃えカス)が付着していたのです。外部にコークスが付いていても、破損せずに内面にコークスが付いた安全灯は、これ以外一つも見あたりませんでした。このことから目黒技師は、安全灯193号を爆発の火源と決定し、次のとおりまとめています。

「安全灯193号の持主である根来たちが、爆発地点の採炭現場に到着した時には、メタンガスも炭じんも何ら危険はなかった。しかしその直後、だれかが通気戸を開け放しにしたために通風系統が乱れ、しだいにメタンガスや炭じんがたまり、安全灯内で小さな爆発が起こった。その波動で全坑内にわたる大惨事をまねいた」。

爆発の衝撃で炭じん(石炭の粉)が舞い次々と爆発が連鎖する炭じん爆発、



大正4年1月に14人の専門技師団によってまとめられた「方城炭坑瓦斯爆発調査復命書」。7年前に北九州市の古書店で発見され、田川市石炭歴史博物館が購入。当時、主任学芸員の森本弘行氏が活字資料にまとめた。内容は目黒レポートとほぼ一致している。

国内では「原因不明」とされてきた大非常、イギリスで発表されていた「事の真相」とは…。

目黒レポート



→目黒レポートが掲載されたイギリスの鉱業雑誌「THE COLLIERY GUARDIAN」。大正4年4月30日号と5月7日号の2回にわたり発表された。



▲当時の安全灯。坑夫用のトーマス式(写真左)は、灯が消えた場合、坑内で専任の係員が安全灯を管理する火番所(笹部屋)で、別のものと取り替えなければならなかった。自動点火装置がついているウルフ式(写真右)は、炭鉱の職員や小頭などが使用した。資料/直方市石炭記念館

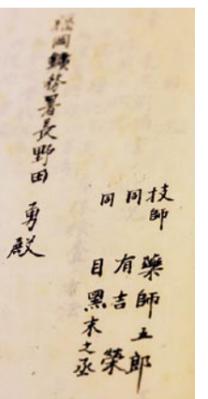
インタビュー

田川市教育委員会 文化課 課長補佐

森本 弘行さん (伊方 八幡町)



今回、目黒レポートを拝見しましたが、極めて信ぴょう性の高い資料だと感じました。方城大非常は日本の炭鉱災害史上最大の惨事ですが、これを機に国内炭鉱の安全意識が飛躍的に高まっています。この事故が坑内災害を防ぐ全国の教訓になったことも忘れてはなりません。



↑大非常の調査復命書をまとめた調査員14人のなかには目黒末之丞技師の名も連ねている。

「方城大非常の約5か月後、大正4年5月に筑豊石炭鉱業組合が「安全灯研究場」を直方市に設立。事故を教訓に筑豊をあげての組織的な保安研究が始められた。写真/直方市石炭記念館



方城大非常を受けて規模拡大 炭鉱訓練施設

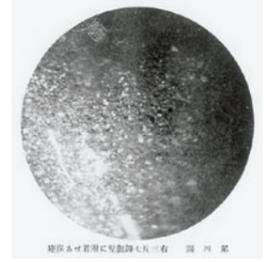
大正元年に筑豊の炭鉱会社が合同で設立した炭鉱訓練施設が、直方市に建設されました。ここで炭鉱災害時の救護隊員が養成されました。坑道を模したトンネルは高さ2.5メートル、幅2メートル、当初の長さは11メートルでした。しかし、大惨事となった方城大非常を受けて、救護訓練が強化され、トンネルは10倍以上の117メートルに延長されます。各社から派遣された訓練生がこの施設で1週間、マスクやヘルメットを身につけて、実践的な救護の訓練を積みました。



↑方城大非常の後、10倍以上に延長された救助訓練用のトンネル。通常は非公開。



「大災害となる炭じん爆発を防ぐため、方城大非常を例に、筑豊の全炭鉱が保安向上に努めました」と語る直方市石炭記念館の坂田耕作館長。



↑大非常後に坑内を調べた京都大学の井出博士も爆発について「いざいざにしても炭じんが主動力である」とし、炭じんの燃えカスの写真を「炭坑爆発誌」に掲載した。

発生件数は少ないものの、いったん起きるとドミノ式に坑内を全滅させます。その際、爆風で生き残ったとしても「後ガス」「シビレガス」とよばれる一酸化炭素で死に至ります。一酸化炭素(CO)は、無色・無臭で感知しにくい気体ですが、その毒性は強力。空気中に一酸化炭素が0・16%でもあれば2時間で絶命、1%を超えると3分以内に人は死亡します。炭じんの発生は水や岩粉をまくことで防げますが、当時は散水などの保安も不十分でした。特に、方城炭鉱のように、深部の良質な石炭であればあるほど、メタンガスも多く発生していました。

当初から単に「ガス爆発」とされてきた方城大非常ですが、安全灯の検査の不備、だれかの通気戸の閉め忘れ、そして、散水されず坑内に浮遊した炭じん…。それらの要因が重なって「ガス・炭じん爆発」が起こったと考えられます。

しかし「復命書」で報告されたにもかかわらず、なぜ爆発原因が「不明」とされたのか。なぜ目黒技師は国内ではなく、イギリスでレポートを発表したのか。その理由は依然として、謎のままです。

ヤマを見守った一本の古木がある。正蓮寺の大イチョウ。推定樹齢は200年を超える。台風の枝落ちで樹形が変わったものの、風土を年輪に刻んだ風格をにじませている。かつて方城の人々は言った。「大非常のすべてを知っとるのは、あのイチョウだけやろう」と。そして今年5月、その境内に、道をはさんである「伊方古墳」をかたどった「無縁仏塚」が建立された。正蓮寺の長川良願住職が、大非常や強制連行で失われた名もない多くの遺骨をここで供養している。



第三章

大非常そして今の日常

大非常が起きたあの日から、あと数年で100年が経とうとしている。

日本最大の炭鉱爆発事故は、移りゆく時とともに深い沈黙の底に埋もれてしまった。

しかし、真実を知り、心にとどめられる人がいるかぎり、命の重さとともに大非常は浮かび上がる。

日だまりの路地に響いた あの子の声は消えた…。

閉山からおよそ40年。人は去り、ヤマも消え、

もう、古い写真と言葉でしか伝えられない。

この町にしかない日常に語りかけるメッセージ。

いまここで、ヤマの声を受けとめたい。



方城の炭鉱長屋の路地で「ゴム跳び」をして遊ぶ子どもたち。今では長屋も姿を消し、近隣のつながりも炭鉱の面影さえも消えつつある。

謎を追った



「わたしは運命的に方城と出会った」という織井青吾さん。およそ5年の歳月をかけて28年前に「方城大非常」を執筆した。遺族や当時を知る人のもとにくまなく足を運び、声をつづった。



「わ

わたしは、広島に落とされた原子爆弾でかなりの火傷を負っている。毎年8月6日

がやってくるたびに、生き残りの一人として、死んでいった友や多くの人々にかわって自分がなすべき途を考えた。方城非常との出会いが、そこにあつたといつてもいい。

昭和54年に発行された「方城大非常」の著者、織井青吾さん。はじめて訪れた筑豊には、まだボタ山が墓標のように立っていました。方城町に足を踏み入れたのは昭和49年5月1日、織井さんのメモ帳にそう記されていました。

「古老から方城大非常の話を知り、当時の資料などをめくっているうちに、とんでもない事故だと思いはじめた。爆発原因がばかされてははつきりしない。どの資料も死亡した坑内馬の数は合っているが、人間の数はバラバラ。

これが、わたしにとって方城非常追跡の出発点となった。

そして織井さんを大非常の執筆へと駆り立てたのは、生まれ故郷「広島」とのつながりでした。

「方城大非常の犠牲者にみられる広島県出身者は全体の10%弱、孤児は20人もいた。原爆で多くの孤児が出たが、その40年近くも前に出稼ぎの炭鉱孤児がいた。この地では坑夫になることを軍隊用語の『志願』という言葉でよんだが、ボタ山がヒロシマに連なっているように思えてならなかった。

織井さんが方城大非常の取材で、広島県の山間を訪ねたときのことです。

「大非常の犠牲者とその友人の実家は、両家とも小作農家で2百坪しか離れていなかった。わが国全体から見れば、針でつづいたほどの地点。そのなかで5人が炭鉱に出稼ぎに行つて2人

が死亡、さらに原爆で4人、戦死が2人、そのうえ自殺が2人と、あわせて10人の命が奪われていた。そうした史実を近くで生まれ育っていたが、同じような境遇にある自分が知らずに生きてきた。はずかしかった。

昭和53年12月15日、織井さんの取材活動が思わぬ形で方城に現れました。大非常の時刻にあわせ、役場が哀悼のサイレンをならしたのです。大非常から数えて64年目のことでした。福智山から吹き下ろす寒風の中、織井さんは痛いほどヒロシマの夏を感じたといいます。

『方城大非常』を出版してひとつ心残りがある。広島と筑豊が教えてくれた人々の悲しみ。炭鉱では「非常」、戦争では「非常時」という言葉で命が失われた。できれば「非情」、「悲愴」という言葉でタイトルにしたかった。織井さんが、二つの故郷をふり返りました。

織井青吾がみた悲常

方城随想

ヒロシマへと連なるボタ山。



織井青吾（おりい・せいご）1931年広島市に生まれる。広島高師附属中学3年のときに原爆被災。シナリオ、ルポルタージュ、小説、評論などを執筆。「地図のない山」「方城大非常」「流民の果て」「なぞの方城炭坑大爆発」など著書多数。早大中退、明大卒。東京都国立市在住。

命とまなざし

悲しい過去を忘れてはならない。目を背けてはいけない。 真実を見つめて

戦史を超える犠牲

— 日本発展の礎となった炭鉱殉職者 —

炭鉱の歴史は、犠牲の上に書かれた日本の発達史だといわれてきました。明治時代からの町内戦没者は千数百人。町内の炭鉱で命を失った人は、千五百人をも上回ると予想されます。その中には強制労働で祖国を夢見ながら亡くなった人や墓標さえない人も数多くいます。それらの遺骨は、大非常の犠牲者も含め、いま、この町のどこか

で眠っています。石炭産業史より多い命の犠牲を持つ歴史は、戦史以外にないといわれますが、この町では戦没者よりも炭鉱殉職者の数が上回っているのです。

三菱方城炭鉱に閉山前年まで勤めた福田



「毎月1日に、山の神の招魂碑に方城炭鉱の労使が献花し、大非常の犠牲者に手を合わせています」と振り返る福田文雄さん（伊方鶴ヶ丘）当時、採炭現場の調査や管理をした。



炭鉱や方城大非常を取り上げた伊方小3年3組の授業。20人の児童が、かつて校舎のすぐそばにあったヤマの歴史を学んだ。人権同和教育を担当する佐藤滋先生が、実際の石炭や当時の写真などを使って、子どもたちの視線を引きつけた。



文雄さんは言います。「落盤事故の現場で、故人が大切にしていた懐中時計が持ち主と反して時を刻んでいました。無情に涙したあの場面が忘れられない。命の重さを考えたとき、大非常がどれほどの犠牲と悲しみを生んだのか。過去があつてこそ今があることを子どもたちの心に刻んでほしい」。かつて大非常の日時に響いていた哀悼のサイレン。旧方城町で戦没者と炭鉱殉職者の合同慰霊祭を行うようになってから、鳴ることはありませんでした。今は方城炭鉱の菩提寺であった福圓寺の慰霊祭で梵鐘の音が響くのみです。列席する遺族や関係者の数は年々減り続けています。

福圓寺の富永武元前住職は「坑内で亡くなり、地底に埋もれたままの多くの人がい



大非常の犠牲者の位牌（写真右）や霊鑑がおさめられている福圓寺では、住職が毎朝夕かさず犠牲者を供養している。「わが子を残して一瞬のうちに、何も分らずに亡くなった数百の霊、その犠牲者の気持ちになって先々代から供養をしています」と富永武元住職。



↑赤池の松本墓地に点在する無縁仏の墓石。戦時中の強制労働で、方城炭鉱や赤池炭鉱にいた朝鮮や中国からの労働者たちは「生きて必ず祖国に帰ろう」と励まし合いながら、過酷な状況にたえていたという。

日本経済発展の礎を築き、多くの犠牲をはらんだこの町のヤマ。隆盛は誇らしげに伝えられますが、暗く悲しい過去は、長年伏せられていく傾向にありました。

文化財専門委員会副委員長の永末宏之さんは言います。「炭鉱で栄えた時代は、坑内災害を予感させる大非常のことを口にしてない風潮がありました。そして過去には強制労働で送られた多くの人たちが、過酷な勤務を強いられた末に命を落としていきます。たとえ払拭したい出来事であっても、わたしたちは真実を見つめ、見極める目を持たなければなりません」。

過去から目をそらすのではなく、向き合うまなざしがあつてこそ、人権や命の重さを受けとめることができます。そうして、沈黙の闇にあつた大非常や多くの犠牲の存在が、この町で浮かび上がってくるのです。



「歴史の表面だけではなく、その意味を理解して欲しい」と語る元教諭の永末宏之さん（弁城迫）。かつて、炭鉱災害の防止をこころざし、明治専門学校（現九州工業大学）に進学した。

「子どもたちに失われた命とその重さを感じて欲しい」と語る福圓寺の富永武元前住職（伊方音丸）。旧方城町社会福祉協議会の会長在職中に、哀悼のサイレンと歴史授業をはじめた。

大非常のメッセーじ

— 郷土の史実と向き合う視点 —

日本史上最大の炭鉱爆発事故が起きたこの福智町で「方城大非常」の意味さえわからない人は、人口約2万5千人のうち、おそらく半数以上におよびます。まして全国的には事故の存在もほとんど知られていません。町内の小中学校8校で大非常を授業に取り上げているのは、伊方小、弁城小、方城小のみ。さらに、語り部もいなくなり、資料や情報も少なく、授業時間が限られているため、内容も縮小したといえます。

そんな中、地元の伊方小では、12月の人権週間の事前授業として、11月16日に「方城大非常」をテーマに学習。子どもたちは、同年代の犠牲者や遺族と自分を重ねながら、郷土の歴史に理解を深めました。

今ではきけない「口説き」 方城非常唄

いつのころからか、方城でうたわれた唄があります。「方城非常唄」。遺族の悲しみが唄となり、やがて犠牲者のめい福を祈った盆踊りの「口説き」となりました。

豊前田川の名も高き
三菱方城炭坑にて
坑内ガスが破裂して
八百余名の犠牲者を
出した哀れな大非常

六番まであるこの非常唄は、かつて事故を目の当たりにした池本喜代蔵さんが、生前、盆踊りで必ず披露していたという唄です。その節まわしが踊りの輪の中から聞こえると、姿は見えなくても「ああ池本さんがやっているな」とわかるほど地元で評判でした。しかし、その唄もいつしか途絶え、今では唄える人もいないと言われています。



方城での盆踊りの輪（昭和34年8月）



↑麻生・貝島と並び「筑豊の御三家」と称された安川敬一郎創業の明治鉱業。赤池炭鉱は明治鉱業の中核として良質な赤池炭を出炭した。かつて明治専門学校(現九州工業大学)の前身である日本初の炭鉱技術員養成学校「赤池鉱山学校」もここにあった。筑豊一の納屋頭・松岡陸平もいた。24時間フル稼働する鉱山は「眠らないヤマ」ともいわれた。今では、整然と並んだ炭鉱住宅の面影もなく、写真右のボタ山は中央公民館などの公共施設や新興住宅地に置き換わっている。

福智、ヤマの記憶。



→石炭の輸送拠点だった金田には筑豊屈指の商店街が形成された。大正11年には映画館「大和館」が開場。「びっくり市」や「ガラクタ市」の発祥の地でもある。その後、エネルギー革命の波にのまれ、芝居小屋やクラブ、カフェなど、数々の店舗が姿を消した。

↓昭和44年11月11日、多くの住民が見守るなか、三菱方城炭鉱の煙突が解体された。筑豊では閉山が相次ぎ、ついに最後まで生き残った赤レンガの大煙突も姿を消す。この町の人口も半減し、復興をかけたまちづくりに着手した。



大煙突

試される地力

疲弊から立ち上がり、再生した町の底力が、いま問われる。

閉山後に町が倒産

—旧3町すべてが財政再建団体に転落

方城大非常の4か月前に勃発した第一次世界大戦は「筑豊に5円以下の貨幣はない」といわれるほどの好景気を生みました。その後、石炭産出で筑豊の王座はゆるがず、全国出炭高の半数以上を占めていきます。大非常にうちひしがれた方城も大煙突から白煙を上げ、日本経済発展の原動力として不死鳥のようによみがえります。福智町の旧3町は、国策の石炭産業で炭鉱の熱気と活気に満ちあふれました。

しかし、昭和40年代後半からエネルギー源が石油へと転換し、旧3町は大打撃を受けます。基幹産業の消滅で人口の半数以上

インタビュー
町の行財政改革を主要施策に掲げる

浦田 弘二 町長

父が炭鉱で働いていました。ヤマは常に身近な存在でした。閉山、再建、合併と、今も時代の局面をかみしめ、行財政改革を推進しながら、郷土の歴史を誇れるまちづくりを進めたいと思います。基金の助成金は、将来に夢がもてるような事業に活用したいと考えています。

合併再建の山場
—いまなお直面する財政危機

しかし、旧3町が閉山後の事業展開で倒産したように、財政再建後に反動が現れます。再建中に抑えられていた行政需要への対応で借金が増加。旧3町は自治体最大の行革といわれる「市町村合併」を選択します。しかし、新町・福智町では借金も財政

が町を後にし、労働者人口の大半が転出。多くの失業者と鉱害地が残りました。8割以上を占めた町の財源が、国や県に依存した交付金や補助金、そして借金へと逆転し、閉山の影響は財政構造にとどまらず、人心の疲弊にまでおよびます。旧3町は鉱害地の復旧や失業対策、企業誘致などの基盤整備を進め、やがて厳しい財政状況へと追い込まれていきました。

脱産炭地にあえぐ町の政策は、事業と借金を重ねるといふ悪循環を招き、その財政はついに破綻。福智町を構成する旧町すべてがバトンをつなぐように、昭和50年代後半から次々と町の倒産を意味する準用財政再建団体に転落していきました。現在、北海道夕張市が財政再建に取り組んでいます。旧産炭地の宿命のような財政の立て直しをすでに福智町は経験しているのです。

国策支援に終止符

—どう生かすか最後の2億6千万円

昭和36年に始まった産炭地振興策で全国の産炭地に投入された予算は、10項目で約3千106億円。失業対策費などを含めるとさらに数千億円が加わるといいます。これまで産炭地は国の支援に依存してきましたが、今年、政府は産炭地域活性化基金の取り崩しを認めるとともに、およそ半世紀続けてきた旧産炭地振興策を完全に打ち切ることを決めました。

筑豊の15市町村には、取り崩した基金の

うち約31億5千万円が配分され、福智町には約2億6千万円が申請により助成される見込みです。この産炭地への最後の助成金で、いかに有効な地域振興策を導入できるかが、いま町に問われています。

国と地方の債務額は、前年度末でおよそ775兆円。自治体の税収や人口を支えてきた企業が海外へと移行する現在の状況は、かつての福智町と重なります。大非常や町の倒産から立ち上がったように、福智町には再生する底力がきつとあるはず。国策に左右されたのは事実ですが、全国の縮図のような福智町が、過去に得た教訓とノウハウを生かし、自立した真の新しい町をつくり上げていく取り組みは、以前にも増して注目を集めています。

真の新町に向けて 再建力を福智で

旧金田町が昭和56年度から7年間、旧方城町が昭和57年度から10年間、そして旧赤池町が平成3年度から10年間、財政再建に取り組み、いずれも計画より早く脱却を果たしました。20年近くも財政再建期間を引き継ぐ形となった福智町には、今なお全国から視察が相次いでいます。町の前年度末の借金額は普通会計だけでも約260億円。過去の教訓を生かした再建策と成果が、この町に求められています。



旧3町が財政再建完了後に、数値の推移と今後の方針をまとめた「財政再建のあゆみ」

風化から風土へ

モノではなく心で

— 真実の「心の遺産」を次代へ —

大地を揺るがせた爆音とともに中空で渦を巻いたキノコ雲、黒煙を含む雲から舞い落ちてきた黒い粉雪……。大非常の状況を知ったとき、広島や長崎の原爆を連想せずにはいられませんでした。人口約4千人の方城村で、その5分の1にあたる命が突如として失われた方城大非常は、小さな村にとって、原爆にも匹敵する惨事でした。

「当時の目撃者がすでにいない」「戦時中の炭鉱は撮影不許可なため写真入手は困難」「織井青吾氏の著書も絶版」という状況だった今回の特集。日本最大の炭鉱爆発が起きたこの町の中でさえ「方城大非常」という大事故の感覚は薄れていました。語り継ぐものがいなければ、炭鉱も、そしていずれば、戦争をも風化してしまうような危機感さえ覚えたのでした。

いまの子どもたちが、実際にここに炭鉱の煙が上がっていたことを日常で感じることは、ほとんどありません。かつて天高くそびえたポタ山の存在も、ポタ山の言葉の意味さえもわからないのです。ヤマの時代にはぐくまれた人の心の奥深くにあるポタ山も、過ぎゆく時とともに忘れ去られようとしています。

煙突も竪坑も倒され、炭鉱長屋が姿を消し、そして昨年は、三菱方城炭鉱の本事務所跡も解体されました。ヤマの風景はすっかり変わり果て、かろうじて昔の面影をしのばせるのは、三菱方城炭鉱の坑務工作室（赤煉瓦記念館）と、沈黙した赤レンガ塀だけになってしまいました。

「坑夫の血を吸って赤くなった」との逸話が残る、この異様に高い赤レンガ塀を目にするとき、炭鉱が他の介入を許さない場所であったことが感じ取れます。しかし、この赤レンガ塀も老朽化して傾き、崩落の危険性があるため、道路や区画整備の関係から、まもなく壊される運命にあります。

この町に日本経済発展の礎を築いた炭鉱があったことも、日本史上最大の犠牲者を生んだ炭鉱爆発事故が起きたことも、かつて閉山で封じられた坑口のように埋もれようとしています。

ヤマの面影が次々と姿を消していく今、わたしたちが口から口へ、親から子へと語り継いでいくしかありません。風化していく過去は、この町の風土として、心から心へ次代につなぐしかないのです。炭

国登録文化財の赤煉瓦記念館。将来、町のヤマの面影は唯一、ここだけになるかもしれない。



鉱や戦争という大きな犠牲を経て成り立っている現在、そこに生きるわたしたちは「真実の心の遺産を残す」という未来へのテーマを担っているのですから。

インタビュー

方城大非常について学んだ伊方小学校6年生

長尾 祐稀くん
(伊方 長浦)



方城大非常の犠牲者に自分と同じ年の人がいたことに驚きました。両親を失った人はどんな気持ちだったのか、自分だったらとてもたえきれません。日本の発展を支えた炭鉱がこの町にあったことを誇りに思うし、悲しい過去も決して忘れてはならないと思いました。



黙とうを 12月15日午前9時40分、方城大非常のあった日時に町内放送で呼びかけます。町全体の哀悼の意に、ぜひ、みなさんの気持ちを添えてください。

犠牲の上に成り立つ今、課せられた未来へのテーマ。

消えゆくモノとつなぎゆく想い



【参考】方城大非常／なその方城炭坑大爆発／流民の果て／福岡日日新聞
／方城町と炭鉱／三菱鉱業社史【資料提供】織井青吾さん／田川市石炭歴史博物館／直方市石炭記念館／西日本新聞社／福岡寺／池本正義さん／橋元光子さん／田島靖さん／桑野武平さん／前川俊行さん／森本弘行さん

FUKUCHI INFO&NEWS

プロが奏でるハーモニー

音楽祭典

心に残るメロディーをあなたのもとへ…町のクリスマス2大コンサートがついに実現

2007 ロマンティック クリスマスコンサート

3歳の時からバイオリンに慣れ親しんできた東京交響楽団のコンサートマスター・大谷康子さん。動物のものをまねでおなじみのタレント・江戸家小猫さん。独創的で多彩な展開を繰り広げるピアニストの永田郁代さんの3人をゲストに迎えたクリスマスコンサート。ロマンチックなクリスマスソングを含む9曲の演奏を予定しています。プロが贈る本物の演奏を体感してください。

日時▶12月21日 金 18時30分開場、19時開演
会場▶福智町地域交流センター
主催▶福智町・福智町教育委員会
協賛▶福智町中央公民館
☎(28)4100
※前売券が完売した場合、当日券はありません。



↑チケットは数に限りがありますので、お早めにお買い求めください。前売券の購入は、中央公民館までお問い合わせください。

子どもに贈る童謡コンサート

福智町出身の童謡作曲家・河村光陽にちなんで旧赤池町で開かれていた「童謡まつり」。合併後、PTAや育成会、保育所などから再開の要望が多く、今回「子どもに贈る童謡コンサート」としての開催が実現しました。情緒豊かな童謡を中心に、さわやかなハーモニーを届けてくれるのは、童謡デュオの「DOYO組」。日本の心である童謡を世界にも広げたいという思いで2004年に結成した、熊本出身の2人組です。うっとりするような今回のステージを、ぜひ、おさんと一緒にお楽しみください。

日時▶12月23日 日 13時開場、13時30分開演
会場▶福智町同和对策研修センター
主催▶福智町・福智町教育委員会
協賛▶福智町中央公民館
☎(28)4100
入場料▶無料

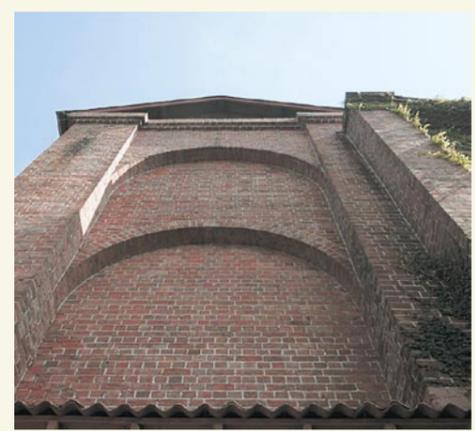


↑河村光陽の「かもめの水兵さん」ほかクリスマスソングなど約7曲が、すてきな歌声で披露される60分間。お聴き逃しなく！

観光ルート化に期待

炭鉱遺産

赤煉瓦記念館が近代化遺産に内定



↑かつて三菱方城炭鉱の扇風機室だった九州日立マクセル赤煉瓦記念館。方城大非常の時はここから坑内へと送風された。

経済産業省が選定を進めている「近代化遺産」に、筑豊地区にある炭鉱関連の建物や資料14件が内定。町内にある国指定登録文化財の「九州日立マクセル赤煉瓦記念館（旧三菱方城炭鉱抗務工作室）」が、その中に含まれました。来場者15万人を突破した炭鉱王・伊藤伝右衛門邸（飯塚市）や三井田川の二本煙突と竪坑槽をはじめとする14件は「筑豊炭田関連遺産」と位置づけられ「エネルギー源や化学工業原料として、わが国の近代化を支えた九州の石炭関連遺産群」に含まれる方向です。日本の発展に大きな役割を果たした歴史が評価された「筑豊」。今回の指定が炭鉱観光のルート化に弾みをつけるものとして、町も大きな期待を寄せています。

福智の新成人として

門出祝福

町のひとつの会場で旧友との感動の再会



←今回は町全体の新成人が集い、さらに盛り上がりが見込まれます。

新成人への祝福と期待を込めた成人式。前回は旧町単位でしたが、本年度は福智町同和对策研修センターの1会場で統一開催されます。特別講演の講師はテレビ番組「ドォーモ」などでおなじみの山本華世さんです。
日程▶平成20年1月14日 日
時間▶9時30分～受付、10時開式
場所▶福智町同和对策研修センター（川食赤池店前）
対象▶昭和62年4月2日～昭和63年4月1日の間に生まれた人。転出した人も参加できます。
該当者数▶287人（町内該当者のみ）
☎ 福智町教育委員会生涯学習係 ☎(28)2046

共生する町づくりへ

人権週間

豊田謙二教授と人権・福祉を考える

12月4日 日～10日 日 は全国で展開される「人権週間」です。命と人権の尊重、だれもが幸せになれる町づくりは福智町の大きなテーマ。今回は、熊本学園大学大学院の豊田謙二教授を講師に迎え「私たちの手でつくる人権と福祉のまちについて」の講演会を福智町同和对策研修センターで開催します。一人ひとりがつながり、大切にされる地域をめざした講演会に、みなさんの積極的なご参加をお待ちしています。



↑「福智町人権と福祉のまちづくり総合計画」のアドバイザーを務める豊田教授、社会福祉分野の権威です。

期日▶12月9日 日
時間▶9時30分～受付・10時開始
会場▶福智町同和对策研修センター
※当日は無料送迎バスを運行します。
参加費▶無料（ごなたでも参加できます）
☎ ほんのぼの館 ☎(28)6290

長年の功績をたたえ

行政相談

神野一郎さんが総務大臣表彰

行政相談委員の神野一郎さん（赤池）が10月12日に東京都で総務大臣表彰を受けました。16年間にわたる「地域の身近な相談相手」としての活動が評価されたものです。日ごろから「心配ごと相談」などで住民と接し、中立な立場と視点で行政とのパイプ役を担っています。



←平成3年から委嘱を受けている神野委員。

区長会の役員選出

行政区会

行政区長会の会長に加藤美明さんが就任

町内82の行政区で組織する行政区長会議の役員が選出され、会長に加藤美明さん（伊方）が就任しました。加藤会長は「行財政改革に取り組む福智町の財政再建のため、行政・議会と協力しながら、区長会の会長として、より住みよい町づくりを目指し、努力したい」と、就任後に抱負を語りました。なお、詳細は来月号で掲載する予定です。



↑区長会長に就任した加藤さん。

体力測定結果を報告

健康講演

心と体の関連学



↑測定結果に基づき、項目ごとに解説する村田伸先生。

福智町自立支援フォーラムが10月28日に地域交流センターで行われました。姫路獨協大学の准教授で、地域再生計画「福智町高齢者体力づくりプロジェクト」代表の村田伸先生が「高齢者の体力づくりと介護予防」について講演。事前に行っていた町内30人の体力測定の結果に基づき発表しました。67人の参加者は、精神面が身体的な健康にも大きく結びつくことを再確認し、日ごろの健康づくりへの意識改革につながったようでした。

滞納 前年度3億5千万円未納 滞納額は計31億円に

税金 金や使用料、貸付金などで前年度に納められなかった金額は、およそ3億5千万円。全体で89.7%の収納率(税は94.2%)でした。それ以前から残る滞納額との合計は、約31億円にまで膨らんでいます。

平成18年度の主な滞納額	
町民税	1億2,173万円
固定資産税	2億6,356万円
軽自動車税	2,843万円
国民健康保険税	2億2,587万円
保育料	5,402万円
汚水処理施設使用料	975万円
住宅使用料	1億7,357万円
住宅管理料	1,027万円
学校給食費	2,569万円
住宅新築資金等貸付金	19億0,552万円
水道使用料	2億5,282万円

18年度決算その6

地方債 借金残高は260億円 1人あたり約100万円

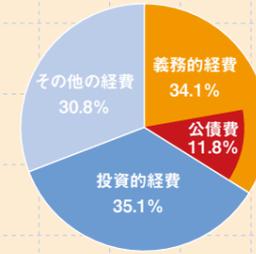
年 度を越えて元利を償還する借入金を「地方債」といいます。18年度末の地方債残高は17年度から約23億円増えて260億円となりました。人口1人あたりに換算するとおよそ100万円になります。福智町の場合、償還額の一定割合が地方交付税措置されるものが多く、試算では60%近くの算入が見込まれますが、財政負担の割合も増大しています。今後は合併効果を表しながら借金を減少させなければなりません。



18年度決算その5

歳出 一般会計186億2千852万円 21億円を公債費にあてる

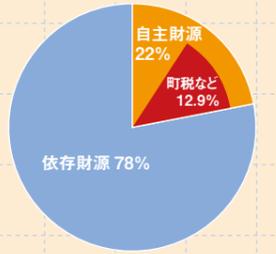
前 年度に町が支出した一般会計の総額は186億2千852万円。これを性質別に見ると、人件費・扶助費・公債費の「義務的経費」が約63億5千万円で全体の34.1%、そのうち借金を返済する公債費は約21億円で全体の11.8%とされています。また「投資的経費」は約65億3千万円で全体の35.1%、そのうち普通建設事業費が約46億7千万円で全体の25.1%をしています。



18年度決算その2

歳入 一般会計195億6千218万円 依存財源が約8割しめる

町 に入った昨年の一般会計の歳入は195億6千218万円でした。その内訳は、国や県に頼った依存財源が78%、町でまかなう自主財源が22%となっています。しかし自主財源には全体の3.8%にあたる基金の取り崩し(約7億4千万円)や前年度からの繰越金(約10億8千万円)が含まれているので、実際の町税などの収入は12.9%で、全体の1割ほどしかありません。



18年度決算その1

その対策 03 19年度は ▶ 滞納額解消に向け全力 徴収体制強化

深刻な滞納問題に対し、町は差し押さえなどの滞納処分に取り組むため、税務課に収納対策係を設置しました。現在、県の地方税収対策本部・特別機動班の協力を受けながら、町の管理職全員と担当職員が戸別訪問をして滞納整理を進めています。7月に行った町税等納付強化月間を12月にも実施し、一層の収納強化を図ります。



18年度決算その8

その対策 02 19年度は ▶ 機構・施設の効率化を図る スリム化検討

旧町から引き継いだ153におよぶ公共施設の経費が町の財政を大きく圧迫していることから「公共建物及び施設検討委員会」を立ち上げ、今後の施設のあり方について現在協議を進めています。また「機構改革検討委員会」が行政組織のスリム化を図るため、新町にふさわしい体制づくりを検討し、本年度中に答申を出す予定です。



18年度決算その7

その対策 01 19年度は ▶ 集中改革プランを立案 行革指針策定

行財政改革大綱答申を受けて組織された行革推進本部が9月末に「集中改革プラン」を策定しました。本年度から23年度までの5か年計画で、職員数の30人削減や8億円の人件費削減など、82の項目ごとに検討期間や実施年度、数値目標を掲げています。今後、このプランをもとに行革を進め、効率的な行財政運営を推進します。



18年度決算その4

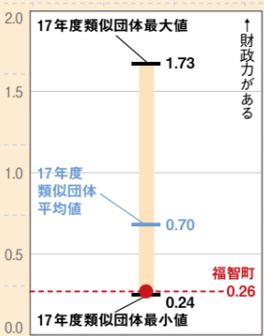
決算

平成18年度 まちの財政通信簿

福智町の事実上初年度となる平成18年度決算がまとまりました。旧町の財政規模を引き継いだ厳しい状況となっています。ここで、その対応も含めた本年度の町の動きもチェックしてみましょう!

財政力 国への依存度が高く 財政基盤が弱い

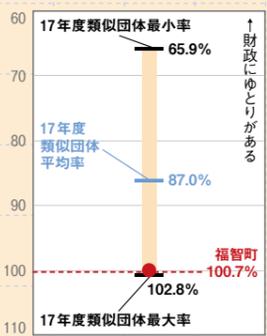
基 準財政収入額を基準財政需要額で割った過去3年間の平均値が「財政力指数」です。指数が高いほど自力があり、指数が低いほど国への依存が強いといえます。町の財政力は17年度類似団体の最小値とほぼかわらず、全国最低の水準です。今後、収納率の向上や企業誘致など、財政基盤の強化が求められます。



18年度決算その8

経常収支 100%を超え はまだ赤信号

人 件費など毎年必ず必要とする経費を比較的安定している収入で割った指数が「経常収支比率」です。「財政構造が弾力性を失い硬直化している」とされる危険ラインを超え、福智町の普通会計の経常収支比率は100.7%となっています。17年度より0.8%下がりましたが、依然として財政のゆとりはありません。



18年度決算その7

基金 18億の振興基金を新設 貯蓄は約132億8千万円

法 律や条例に基づいて設置される「基金」は、特定の目的のために活用することができます。普通会計では23の基金があり、18年度末の残高は約132億6千5百万円。また特別会計の2つの基金の残高は約1千9百万円で、町の基金の合計は17年度からおよそ17億円増え、約132億8千4百万円となっています。一般財源の負担が少ない合併特例債を借りて、新たに約18億円の振興基金を積み立てています。



18年度決算その4

特別会計 国保がピンチ 診療所も赤字

特 定の事業を行うために一般会計と区分して設置される特別会計では、国民健康保険特別会計が約2億2千万円、町立診療所事業特別会計が約9千万円の赤字を出し、厳しい状況に直面しています。

区分	歳入	歳入歳出差引
老人保健特別会計	27億8,034万円	-5,043万円
国民健康保険特別会計	24億3,131万円	-2億2,207万円
町立診療所事業特別会計	9億1,573万円	-9,281万円
同和地区住宅新築資金等貸付事業特別会計	3億3,823万円	+2,688万円
宅地造成事業特別会計	1億2,709万円	+159万円
水道事業会計	5億7,433万円	+875万円

18年度決算その3

一服のお茶から、胸いっぱいステージまで。

観客を魅了してやまないステージ、見る人を引き込む感性豊かな作品の数々。町のアーティストの表現が、今年ついに一つになった文化の祭典。**福智町文化祭**

ス テージに立つ人の表情も、展示作品の出来ばえも、どれも例年以上の意気込みを感じました。それもそのはず、昨年までは旧3町それぞれの取り組みを継続した個別の文化祭でしたが、今年5月の文化連盟発足により、全町規模で一つになる文化祭が実現したのです。

まず、スタートを飾ったのは、10月14日に地域交流センターで開かれた「ふれあいコンサート」でした。文化連盟の7団体と金田・方城中の吹奏楽部が合唱や演奏を披露。歌うことや奏でることへの喜びに満ちたハーモニーは、会場はもちろん、観客の心の奥深くまで響き渡りました。

そして「文化の日」を迎えた11月3日から「芸能発表会」と「作品展示」が2日間の日程でスタートしました。芸能発表会では120人の出演者が地域交流センターのステージに集い、あでやかな日本舞踊や躍動感あふれるダンスなどを披露。年に一度の晴れ舞台に、惜しみない拍手が送られました。公民館金田分館で行われた作品展示会では、絵画や書、写真、生け花、手芸、そして福智町を代表する伝統的工芸品・上野焼などなど、バラエティー豊かな作品が千点以上並びました。訪れた人は、感性豊かな作品や心つかむ作品に思わず足を止め「へえー」という感嘆の声とともに、まじまじと見入っていました。また、お茶席やバザー、子ども広場などの催し物が会場やその周辺で行われ、多くの人でにぎわいました。



ふれあいの催し

文化祭の会場やその周辺には、たくさんの人と出会い、ふれあえる空間が広がっていました。「焼けてよー」「安いよー」とかけ声が響く出店、お茶席での心からのおもてなし、好奇心いっぱいの紙芝居など、数々のイベントが、文化祭に花を添えました。

思いめぐる展示

さりげなく心に安らぎを与える作品から、アツと言わせる存在感で驚かせる作品まで、多彩な作品が勢ぞろい。見る人は、手に取ったり、作者に思いをせせたり、作品に友人の意外な一面を発見したりと、思い思いの視点と観賞方法で作品を楽しんでいました。

あつまると同じ舞台で。

心躍るステージ

合唱、合奏、舞踊、ダンスなど、夢のコラボレーションが福智の舞台で実現しました。「和」も「洋」も、大人も子どもも、舞台上げればみんなが主役。思いを込めた歌と音、磨き抜かれた身のこなし、日ごろの成果が一堂に会した、感動の舞台発表でした。

チャリティーライブで「豊徳祭」幕開け
筑豊のビートルズに酔いしれる

10月28日に(社)豊徳会主催の豊徳祭が、方城体育館で開かれました。パザーやステージなど幅広い内容のプログラムで、特に仮面ライダー電王ショーは、ひときわ子どもたちの視線を集めました。その前日には地域交流センターで前夜祭のチャリティーライブが行われ、フライングエレファントがビートルズナンバーを熱唱。満員の観客を魅了しました。



↑前夜祭ラストはアンコールに応え、ビートルズの名曲「ヘイ・ジュード」を披露。

↓ホールポストを思わずオーバー、8ホールを声をかけ合いながらプレイ。



福智町グラウンドゴルフ大会
寒さ吹き飛ばしたホットなショット

福智町グラウンドゴルフ大会が、11月18日に金田スポーツ公園で開催されました。各地区の予選を勝ち抜いた30チームの約200人が参加。1打ごとに「一喜一憂しながら親善を深めました。参加者で最年少の高瀬絵里佳さん(市場小2年)は「おばあちゃんと交代で打ってドキドキしました。ぜひ、またやりたいです」と笑顔で感想を語りました。

↓赤池4保育所による獅子舞では、会場全体が拍手と大歓声に包まれました。



福智町敬老会
健康長寿を祝って初の合同開催

旧3町でそれぞれ行われていた敬老会が今年初めて統一され、11月11日に金田ドームで開かれました。70歳以上の5千52人が対象で、約2割の1千126人が参加。式典後に方城和太鼓の演奏で威勢よく始まったアトラクションでは、伝統舞踊や空手の演武など、趣向をこらした7演目が披露され、肌寒い会場のなか、参加者の心を温めていました。

↓「この器で何を飲もうか」感触を確かめながら品定め、女性には優しい色合いが人気でした。



上野焼秋の窯開き
陶器の味わいと秋の味覚

10月26日から3日間、上野焼協同組合主催の「秋の窯開き」が行われました。会場となった上野焼陶芸館と上野焼協同組合の16窯元には、この日を待ちに待った陶芸ファン8千人以上が来場。秋の新作を手に、じっくりと吟味していました。また、上野焼陶芸館に隣接する上野の里ふれあい市では「地場農産物大売り出し」が催され、安くておいしい旬の食材や自慢の豚汁、今話題の新商品「上野の里梨ワイン」が大評判。来場者は陶器のぬくもりと、秋の味覚をたん能していました。

IKKOさん福智町でテレビ収録
いちばん心安らぐ場所で故郷を語る

「どんだけ〜!」の言い回しで有名な全国的人気のメーキャップアーティスト・IKKOさんが、久しぶりに故郷の福智町に帰ってきました。10月25日に行われたテレビ番組の収録で、IKKOさんのお気に入りの「町を一望できる広谷の高台」を案内。「わたしは筑豊出身だということを一度も隠したことはない。時代の光と影を知るこの筑豊で育ったからこそ、今の自分がある」と自らの原点を語りました。



←当日の朝に実家のお墓参りをすませ番組収録に臨んだIKKOさん。(伊方広谷で)

福智町子ども会ふれあいマラソン大会
力走の後は最高のスマイル

11月11日に福智町子ども会育成連合協議会主催のマラソン大会が、金田河川敷合流点で行われました。町の合併を記念して始まったこの大会も今年で2回目。町内の小中学生67人が参加し、吹き付ける強風の中、沿道の声援を受けながらランナーが力走しました。力を出し切ってゴールした出場者は、達成感を表すように笑顔が浮かべました。



↑「負けないぞ」観客が見守る中、力強く飛び出した小学校低学年男子の部。

↓重さや質感のほか、色彩や形状についての感想を聞き取りする豊田教授④



高齢者にやさしい上野焼を試作
使う人の気持ちになって考案

上野焼庚申窯の高鶴亨一さんが、社会福祉学を研究する熊本学園大学大学院の豊田謙二教授の依頼を受け、高齢者に工夫を凝らした食器を制作しました。11月17日に北九州市で行われた豊田教授の「高齢者の食と器」講演会で、上野焼の試作品アンケートを実施。ユニバーサルデザインの商品化に向けて、貴重な意見が数多く寄せられました。

せんそうの話

今日、せんそうのビデオを見て、せんそうにいくのになんでよるこぶのだろう、なんでにこになるのだろうと思った。どうして原子ばくだんをおとすのだろうと思った。朝早く広しまにおとしたのだろう。心の中で、なぜ原子ばくだんをおとすひつようがあるかわからない。なぜばくだんをお



としたのか。ぼくは、とってもととも知りたいたい。ぼくは、二どとせんそうがおきないようにしてほしいです。ぼくはこんどから、人のいやがることをしません。

伊方小学校2年 吉村 光希くん



「未来へつなぐ 私たちの人権」

金田中学校3年 福田 夏乃さん

平和学習を終えて

伊方小学校4年 是石 夢美さん

原ばくやヒロシマについてのビデオを見たり、戦争についての写真を見たりしました。私は、原ばくで、とても若い人たちもなくなっていること、1年間の中でまだ



5000人ぐらいの人たちがなくなっていること、子どもでも働いて、お母さんたちとはなればなれになったことなど、初めて知りました。やっぱり、そんな悲しいめにはあいたくないし、自分や家族が戦争にまきこまれ、家族とはなればなれの生活になるのが一番いやです。

私は、平和を守るために、今日勉強したことを忘れずにいます。そして、いろいろな人にも伝えて、みんなに知ってもらいたいと思います。「戦そうをしない」じゃなく、自分たちで平和をつくっていくことが大事だと思いました。

「みんなの笑顔 世界に花を咲かせる」



金田小学校6年 辰島 涼香さん

「大きくそだて 人けんの花ひまわり」



上野小学校3年 白杵 魁夢くん

「ありがとう 人をつなぐやさしい言葉」



上野小学校4年 香月 小波さん

『転入生』を勉強して

わたしは「転入生」の勉強をして、はじめくんと同じように自分の考えを伝えられなかったことがあったので、自分の言いたいことはちゃんと伝えなければいけないと思いました。

このお話しで、ちこくをよくするはじめくんは、クラスの友だちから「転入生ちこくするな。」とか「もとの学校に帰れ。」とかしつこく言われて、すごくいやな気持ちだったろうなと思いました。はじめくんは妹のお世話や、食事のじゅんびなど、家族のためにいろいろしているのに、ちこくをしていることだけであんなどいことを言う同じクラスの人はひどいと思いました。もしわたしだったら、はじめくんがちこくしたら理由を優しく聞いてあげたいと思います。理由がわかったら「なんでちこくしたん。」と友だちがいていても、はじめくんのかわりについてあげられるからです。

学級会が成こうして、はじめくんの学級でも少しでも早く、はじめくんのいい所がわかって、クラスみんなが仲よくなれたらいいなと思いました。

弁城小学校4年 香月 海優さん



11月15日、伊方小学校で人権擁護委員による人権授業が行われました。1～2年生がアニメを見ながら楽しく学び、人権についての理解を深めました。

戦争を繰り返さないために

第二次世界大戦から62年という長い月日が経った。この戦争で日本はアメリカから原子爆弾を落とされたことは私も知っている。この原子爆弾のせいで、莫大な死者が出たのも知っている。

毎年8月になると学校で平和学習をする。小学校のころから9年間この取り組みをしてきた。被爆者の写真や被爆体験者についてのビデオなどを見て「戦争」というものの大体のイメージはある。しかし、戦争を知らない私たちにとって、それは曖昧なものではない。

たぶん戦争を体験した人々にとっては忌まわしい過去の記憶であり、今でもその記憶は微塵も薄れることはなく、心のどこかをさまよっているかもしれない。しかし、私たちはそれを知らない。「戦争」そのものの苦しみや辛さを知らない。だから私たちは、「戦争」を軽々しく口にすることができるのだろう。

現在、日本は「戦後」ではなく「戦前」であると聞いたことがある。それはつまり、「戦争」というものが私たちにとって、それほど遠い存在ではなくなってきているということではないだろうか。もし、そうならばその「戦前」という言葉の意味に私たち戦争を知らない世代がしっかりと向き合っていくべきではないだろうか。中には戦争に賛成する人もいるかもしれない。だけど、考えがいいのか悪いのか私には分からない。ただ、また何年後、何十年後に戦争という悲劇を繰り返してしまったら、62年前から何が変わることができたのだろう、と疑問だけが心に残ると思う。

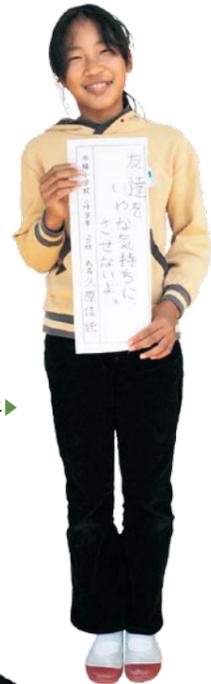
今も世界中で戦争や紛争が起こっている。私たちと同じくらいの子どもの命が銃を持って戦っていると思うと信じられない。そんな風に戦っている人たちがどんな気持ちで戦っているのかなんて、きっと戦争を体験した人にしか理解できないのだろう。

終戦から62年がたち、何が変わり、何を学んだのか、そして、日本が同じ過ちを繰り返してしまわないために、私たち一人ひとりが「戦争」について考えていくことが、これからの私たちの課題だと思っています。

方城中学校3年 朝部 美香さん



「友達をいやな気持ちに、させないよ。」



市場小学校4年 久原 佳純さん

「みんなみんな友だち」



市場小学校4年 大島 楓雅くん

「助け合い 支え合い」



赤池中学校2年 藤重 拡くん

12月4日(木)～10日(水)は人権週間です。

命と人権の花を咲かせて。

人が生まれながらに持つ「生きる権利」そして「人権」。福智町の小中学校8校では、人権学習・平和学習に積極的に取り組んでいます。普段の学校生活の中で、命の大切さ、思いやりの心、善悪の判断などを子どもたちが自ら考えて行動する…。人としての最も大切な視点を芽生えさせる習慣を大切にしています。

小中学生の思いを紹介
人権ポスター・標語・作文



井上 弥維南ちゃん 1歳
平成 18 年 12 月 1 日生まれ
(金田 平原・女の子)



松本 優斗くん 1歳
平成 18 年 12 月 1 日生まれ
(金田 上金田・男の子)



日高 穂南ちゃん 1歳
平成 18 年 12 月 7 日生まれ
(赤池 猿田・女の子)



井上 慎晟くん 1歳
平成 18 年 12 月 8 日生まれ
(市場 8-3・男の子)



橋本 愉々ちゃん 1歳
平成 18 年 12 月 9 日生まれ
(神崎 福吉団地・女の子)



下口 孔蔵くん 1歳
平成 18 年 12 月 10 日生まれ
(神崎 福吉団地・男の子)



片村 輝くん 1歳
平成 18 年 12 月 18 日生まれ
(金田 宝見・男の子)



松尾 倅来くん 1歳
平成 18 年 12 月 19 日生まれ
(伊方 鶴ヶ丘・男の子)



井戸 光優ちゃん 1歳
平成 18 年 12 月 22 日生まれ
(金田 宝見・女の子)



佐々木 聖奈ちゃん 1歳
平成 18 年 12 月 24 日生まれ
(伊方 犬星・女の子)



和田 悠くん 1歳
平成 18 年 12 月 24 日生まれ
(赤池 車道・男の子)



丸山 海くん 1歳
平成 18 年 12 月 30 日生まれ
(金田 人見・男の子)



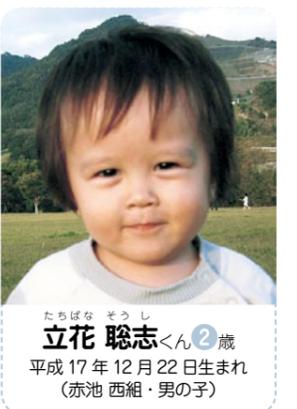
和田 伊織ちゃん 2歳
平成 17 年 12 月 2 日生まれ
(神崎 星ヶ丘団地・女の子)



城野 愛実ちゃん 2歳
平成 17 年 12 月 13 日生まれ
(上野 常福・女の子)



行徳 宣貴くん 2歳
平成 17 年 12 月 16 日生まれ
(神崎 人見坂・男の子)



立花 聡志くん 2歳
平成 17 年 12 月 22 日生まれ
(赤池 西組・男の子)



伊藤 悠紗ちゃん 2歳
平成 17 年 12 月 28 日生まれ
(上野 薬王寺・女の子)



北山 翔登くん 3歳
平成 16 年 12 月 16 日生まれ
(金田 宝見団地・男の子)



斉藤 尋哉くん 3歳
平成 16 年 12 月 17 日生まれ
(赤池 松本・男の子)



町内各地で園児たちの収穫の秋
待ちに待ったサツマイモのご対面。10月31日に「ちびっ子農園」で金田保育園が、11月12日に「上野ふれあい農園」で赤池4園がサツマイモを収穫しました。「見て、こんなにとれたよ」園児たちは、両手いっぱいサツマイモを満面の笑みで抱えていました。



赤池ベアーズがボーイズリーグ九州大会初戦突破
11月3日から2日間、鹿児島市で開かれたボーイズリーグ九州大会に、県北部代表として赤池ベアーズが出場。保護者の声援を受け、鮮やかな逆転勝ちで初戦を突破しました。2回戦は惜しくも敗れましたが、九州大会3度目の挑戦で念願の初勝利を手にしました。

投稿俳句

隣保館・はな句会

池田一歩選

日だまりのありて嬉しや冬の蝶
冴へ渡る空にかりし十三夜
秋冷や振り返り見る吾の人生
親元に帰りしごとし里紅葉
朝顔の小さく一花返り咲
燃ゆる色しづもる色や秋深し
霜月の声を競ふて吟詠す
枯菊を焚くや紫煙に香のほのと
石路咲けば良寛のこと日本海
枯菊を焚いて一病灰となす

久松ミサオ
田口さとし
本島真知子
桑野 園女
柴田ヒサエ
宇野美奈子
皆川 和子
熊谷カツミ
大久保幸子
末松トモ子

福智町金田俳句教室

岩井竜童選

一人にはひとりの生活秋簾
獵期来る耳の眠らぬ犬のゐて
星の精紡ぐ夜長の稽子笛
宿坊の闇を一つに鉦叩
木の実落ち弾む浄土の仏みち
広辞苑繰る晩学の秋灯
幻想の湖面に映す十三夜
蘆の穂に群る雀の力声
露天風呂硝芒に覗かれて
障子貼る切り接ぎ楽し子供部屋

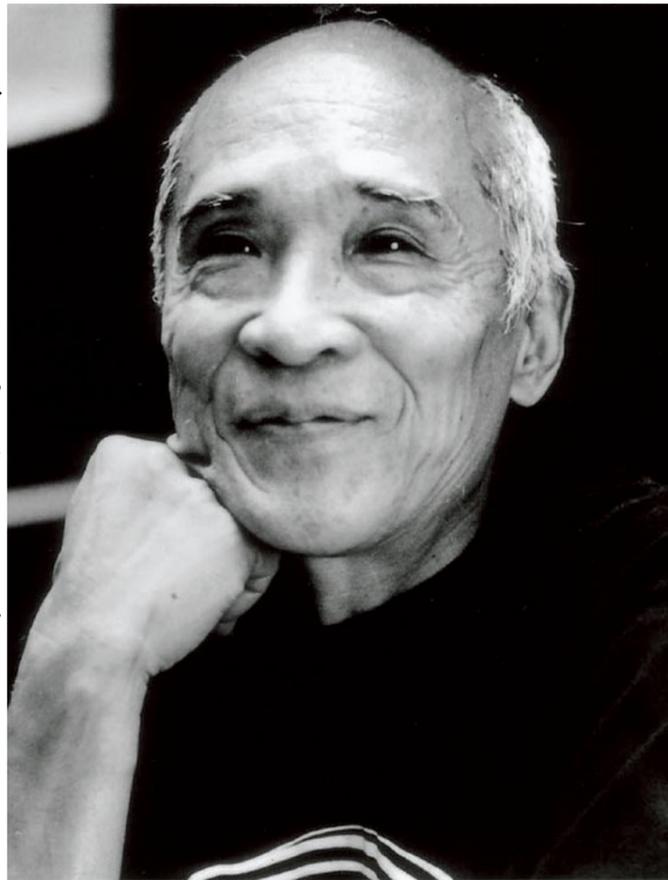
日比生利子
永尾喜美江
建部三由紀
松岡 蔦枝
香月 富子
長副美恵子
迫田 昌子
今井三千代
小川 雪
花石かほる

方城句会

池田一歩選

カーナビの地図の消えたる溪紅葉
川筋や佳境に入りぬ秋祭
在ることも忘れてをりし茶の木咲く
石路咲いて雑木林の麩る
水澄めりガラシ夫人の幽閑地
冬草の日に生き生きと色広げ
鳴いて見せ姿を見せてちろ虫
童心にもどり川原の野菊摘む
一幅の絵巻の如く雁渡る

松本美根弥
尾崎 和子
桑野 昌宜
白石 凡子
藤井耿之介
永末 公惠
渡辺 一枝
杉 フジエ
倉石嘉代子



谷川俊太郎さん

来町決定

生きる 谷川俊太郎

生きているということ
いま生きているということ
それはミニスカート
それはプラネタリアム
それはヨハン・シュトラウス
それはピカソ
それはアルプス
すべての美しいものに出会うということ
そして
かくされた悪を注意深くこぼむこと
生きているということ
いま生きているということ
泣けるということ
笑えるということ
怒れるということ
自由ということ

谷川賢作さんとの親子共演 心に響く詩と音楽の世界へ

読 書応援プロジェクト事業の一環として、詩、エッセー、脚本の分野で有名な谷川俊太郎さんと、ピアニスト、作曲家として著名な谷川賢作さん親子をお招きして詩の朗読とピアノによる公演を開催します。期日は3月2日(日)、会場は福智町地域交流センターを予定しています。参加料は無料、詳細が決まり次第お知らせしますので、すてきな詩と音楽に出会う機会をどうぞお楽しみに！
問 福智町中央公民館 図書室 ☎0947-28-4100

生きているということ
いま生きているということ
いま遠くで犬が吠えるということ
いま地球が廻っているということ
いまどこかで産声があがるとのこと
いまどこかで兵士が傷つくということ
いまぶらんこがゆれているということ
いまいまが過ぎてゆくこと
生きているということ
いま生きているということ
鳥ははばたくということ
海はどろどろということ
かたつむりははうということ
人は愛するということ
あなたの手のぬくみ
いのちということ

生きる／はるかな国からやってきた(童話屋)

L e f t s r e a d i



方城大非常

織井青吾 著 **中央 金田 方城**
朝日新聞社
目撃者の証言をもとに方城で起きた日本最大の炭鉱爆発事故に迫る…。28年前に出版された貴重な一冊。



New

筑豊ヤマが燃えていた頃

井手川泰子 文 **中央**
河出書房新社
筑豊のヤマと、そこにたくましく生きた人たちの記録をまとめた写真集。炭鉱の光と影が心に響いてきます。

かつてのヤマに思いをはせて…

本



なぞの方城炭坑大爆発

織井青吾 著 **中央 金田 方城**
国土社
方城大非常に秘められた謎に焦点をあてて、わかりやすく解説。子どもたちも読めるように編集されています。

金田分館図書室 ☎22-2200・方城分館図書室 ☎22-4300 **蔵書整理の休館日** 12月26日(日)～平成20年1月6日(日)
中央公民館図書室 **蔵書整理の休館日** 12月26日(日)～平成20年1月13日(日) (貸出制限期間:12月17日(日)～12月25日(日))

Disease prevention ▶ No.19

ふくちの健康 お悩み相談所

「メタボリック症候群」と診断されましたが、今後どのような点に注意したらよいのでしょうか？

A 「メタボリック症候群」とは、内臓脂肪(皮下脂肪ではありません)の過剰な蓄積を中心として、糖尿病、高脂血症、高血圧症、高尿酸血症、脂肪肝などの異常が、一人にいろいろ組み合わさった状態です。心筋梗塞や脳卒中など動脈硬化病変の、高リスク群として注目されています。つまり内臓脂肪を減少させる必要があります。そのためには脂肪の摂取を控える必要がありますが、そのほかにも次のことがあげられます。

- 1 定期的に運動をする
カロリーを消費するだけでなく、血糖値を下げるインスリンの働きを高めます。
- 2 間食をしない
特に空腹を紛らわせるために甘いものを食

べると、飢餓への過剰な防衛反応が働くため、脂肪として蓄積されやすくなります。

- 3 寝る前に食べない
夜食や遅い夕食などは、特に脂肪に変わりやすいので控えましょう。
- 4 ストレスをかかえこまない
ストレスをかかえるとホルモンバランスが崩れ、脂肪が蓄積しやすくなります。防止には運動が一石二鳥です。

▶ 40歳以上の男性の約半分、女性の約2割が、メタボリックシンドロームまたはその予備軍です。
コーナー担当医：方城診療所 牟田広実副所長

健康に関するお悩みにアドバイスします。企画課広報・広聴係まで電話かメールでお気軽にお寄せください。☎22-7766 s.kouhou@town.fukuchi.lg.jp



時間と知識の勝負！ 親子でウォークラリー

11月18日、アンビジャス広場活動として「ウォークラリー」が行われました。69人の参加者は、チームごとにそれぞれ作戦を立てながら6つのチェックポイントを一周。1～3位のチームには景品が手渡されました。

「親子でもちつき」のお知らせ
日時 12月9日(日) 9時～12時
場所 児童センター前

問 福智町方城児童センター ☎22-7403
9:00～18:00 【休館日】毎週四、第3回

12月の行事予定

- 6日(木) 10:30～* 誕生会
- 9日(日) 9:30～* もちつき大会
※お父さんもぜひ一緒にご参加ください。
- 13日(木) 10:30～* 親子リズム遊び

みんなでパーティーを盛り上げよう！ サンタさんに会えるクリスマス会

演奏鑑賞やサンタさんからのプレゼントなど、いつもと違ったムードが楽しめるクリスマス会。毎年たくさんのお友だちが集まり、楽しい時間を過ごします。参加を希望する人は、12月10日(日)までに電話で申し込みをしてください。
日時 12月19日(日) 10時30分～

児童・子育て支援センター
年末年始の休館日
12月29日(日)～1月3日(木)

問 地域子育て支援センター
☎22-2401
【サロン開放】10:00～15:00
【休館日】日、月、火

情報ひろば

方城特産館ふくちの郷の売り出し 福智町役場産業振興課



【年末年始開催日】
年末は12月31日 日 16時まで営業
年始は1月5日 日 12時から営業

【歳末大売り出し】
おもち、しめ飾り、お花、野菜、日本酒など正月用品を取りそろえています。
日時 12月22日 日～31日 日

【年末イベント】
12月22日 日、23日 日は各日200食限定で、豚汁を無料でお配りします。31日 日はそば打ち体験（約4人前1000円・要予約）を企画しています。ぜひご参加ください。

【年始イベント】
お楽しみ福袋販売 1000円（限定20袋）
販売日 平成20年1月5日 日 12時～（1月5日 日、6日 日は各日200食限定で、雑煮を無料でお配りします。）
問 役場産業振興課 ☎ 22-7767

カナダふれあい朝市の催し 福智町役場産業振興課

【年末年始開催日】
年末は12月29日 日まで営業
年始は1月9日 日 7時から営業

【正月用もちの予約受け付け】
料金 もち米持参の場合 1kg 650円
もち米なしの場合 1kg 850円

種類 小もち、重ねもち（大、中、小）
申し込み受付 電話での注文は不可。
役場での受付は12月14日 日まで。ふれあい朝市の受付は12月15日 日 12時まで。
受け渡し 12月29日 日 7時30分～12時までカナダふれあい朝市で。当日10時30分までに受け取りに来てください。
問 役場産業振興課 ☎ 22-7767

福岡県巡回交通事故相談 福岡県交通事故相談所

交通事故でお困りの人はお気軽にご相談ください。弁護士による相談も無料です。
日時 12月17日 日 10時～16時（受付は15時まで。秘密厳守。）
会場 田川市役所 市民課 ☎ 44-2000
問 県交通事故相談所 ☎ 092-622-0403

上野の里ふれあい市の売り出し 福智町役場産業振興課

【年末年始開催日】
年末は12月30日 日 12時まで営業
年始は1月7日 日 8時から営業

【年末恒例もちつき大会】
きな粉もち、すもちを販売します。もちつきは飛び入り参加可。汁物も振る舞います。
日時 12月24日 日 10時～

【歳末大売り出し】
おもち、しめ飾り、お花、野菜など、正月用品を各種取りそろえています。
日時 12月27日 日～30日 日
最終日の30日は12時までです。

【正月用もちの予約受付】
料金 もち米持参の場合 3kg 1,400円
もち米なしの場合 500g 500円

種類 小もち、あんもち、鏡もち（大、中、小）など、ご希望に応じます。ご相談ください。
最終受付日 12月28日 日
受け渡し2日前までに、ふれあい市に電話（☎ 28-2017）または直接ご注文ください。
受け渡し場所 上野の里ふれあい市
問 役場産業振興課 ☎ 22-7767

統計調査にご協力ください 経済産業省・福岡県・福智町

▶製造事業所の皆さんへ
「平成19年工業統計調査」を、12月下旬から来年1月にかけて行います。なお調査票に記入していただいた内容については、統計法に基づき秘密が厳守されます。正確なご記入をお願いいたします。
問 役場企画課企画係 ☎ 22-7766

母子寡婦福祉会からのお知らせ 福智町母子寡婦福祉会



福智町母子寡婦福祉会主催の日帰りバス旅行が10月28日に行われ、会員39人が参加。豊後高田市の「昭和の町」などを観光しました。母子寡婦福祉会は、今後も共に幅広く活動していく仲間を募集しています。
問 福智町母子寡婦福祉会 泉保子会長 ☎ 22-0830

机のリサイクルにご協力を 金田小学校・金田中学校



使えなくなった机が、金田小中学校に数十脚あります。休みの期間中に廃棄する予定です。盆栽の台などに利用する人は、12月20日 日までにお問い合わせください。
問 金田小学校 ☎ 22-0061
金田中学校 ☎ 22-0136

心配ごと相談 福智町社会福祉協議会

12月15日 日は、司法書士による特別相談を実施します。相談料は無料です。
①日時 12月1日 日 10時～15時
会場 コスモス保健センター

②日時 12月8日 日 10時～15時
会場 方城福祉会館

③日時 12月15日 日 10時～15時
会場 金田社会福祉センター
問 福智町社会福祉協議会 ☎ 22-6631

補聴器相談 福智町役場福祉課福祉係

日時 12月14日 日 9時～10時
会場 福智町役場 本庁舎

日時 12月10日 日 13時～14時
会場 福智町役場 方城支所

日時 12月10日 日 15時～16時
会場 福智町役場 赤池支所
問 役場福祉課福祉係 ☎ 22-7763

拉致問題を考えるみんなの集い 福岡県・福岡法務局

12月10日 日～16日 日は「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」です。これに伴い、拉致被害者の家族による講演会を行います。
演題 「拉致問題を考えるみんなの集い」
日時 12月13日 日 13時30分～
場所 春日市クローバープラザ（入場無料）
問 県保健福祉部国保・援護課課係 ☎ 092-643-3301

住宅に関する無料相談会 財団法人田川市住宅管理公社

宅地や建物の取得、相続・贈与などの登記に関する事や税金、高齢者住宅に関する相談など、住宅の相談を無料でお受けします。
日時 平成20年1月9日 日 10時～15時
場所 田川青少年文化ホール
相談員 司法書士、税理士、建築士
問 (財)田川市住宅管理公社 ☎ 44-9888

経油免税申請手続き 飯塚・直方県税事務所

農業を営む人がトラクターなどに使用する軽油は、本人の申請により、軽油引取税が免除される「免税証」が交付されます。
申請方法 12月末までに「免税証交付申請書」と「耕作証明書」を、飯塚・直方県税事務所（〒820-0004 飯塚市新立岩8番1号）まで郵送してください。
交付日時 平成20年2月18日 日 9時～11時30分、13時～16時
交付場所 田川総合庁舎2階
持参する物 免税軽油使用者証、印鑑、引取報告書、免税軽油納品書、余った免税証
問 飯塚・直方県税事務所問税係 ☎ 0948-23-4111

日王山から拝む初日の出 ふれあい塾を支える会



ふれあい塾を支える会主催の「初日の出登山」が行われます。日の出前にスタートし、目指すは標高約200mの日王山山頂。下山後はソバゼンざいや、日王の湯の利用券が当たる福引きを用意しています。なお、今回お神酒の振る舞いはいたしません。
日程 平成20年1月1日 日
時間 5時30分～受付、6時出発
集合場所 ふれあい塾キャンプ場
持参するもの 懐中電灯
※雨天や曇りなどで中止の場合は、前日の20時ごろに防災無線で放送します。
問 ふれあい塾を支える会 竹宗学会長 ☎ 090-1342-6345

年末年始のごみ・し尿の収集日 福智町役場住民課環境衛生係

【年末年始のごみ収集日程】
▶12月30日 日～1月3日 日は収集を行いません。1月2日 日は資源ごみの収集は、12月29日 日に行います。
▶月曜日と木曜日に燃えるごみ（赤、黄の袋）の収集を行っている地区については、1月5日 日に収集を行います。1月7日 日は通常どおりとなります。

【年末年始のし尿の収集日程】
▶12月30日 日～1月3日 日は収集を行いませんので、ご注意ください。
問 役場住民課環境衛生係 ☎ 22-7761

野犬など捕獲業務の休止 福智町役場住民課環境衛生係

野犬の捕獲業務は12月20日 日、飼い犬と猫の引き取りは12月26日 日までです。（1月4日 日から業務を再開いたします。）
問 役場住民課環境衛生係 ☎ 22-7761

「ふじ湯」「日王の湯」の年末年始 福智町役場産業振興課

▶ほうじょう温泉「ふじ湯の里」
年末年始も通常通り10時から22時まで営業いたします（1月の休館日は21日 日）。
問 ほうじょう温泉ふじ湯の里 ☎ 22-6667

▶ふるさと交流館「日王の湯」
12月30日 日までは通常営業、12月31日 日は休館です。1月1日 日～3日 日は10時から21時までの短縮営業で、4日 日から通常営業いたします。
※宴会は30日 日の昼まで。1月5日 日からは通常実施いたします。
問 ふるさと交流館日王の湯 ☎ 48-3333

休日も県税事務所を開庁します 福岡県田川県税事務所

県税事務所は下記の休日も開庁します。
開庁日 12月9日 日、16日 日
平成20年3月16日 日
開庁時間 8時30分～17時15分
問 田川県税事務所 ☎ 42-9302

田川地区斎場組合からのお知らせ 田川地区斎場組合

田川地区斎場は、1月1日 日のみ定休日となっております。お気をつけください。
問 田川地区斎場組合 ☎ 42-8002

特設ステージで大歓声 赤池商工会ふるさとフェア

11月4日に中央公民館前広場で赤池商工会主催の「ふるさとフェア」が開かれました。30張りのテントが並んだ会場に約2千人が参加。舞台では子どもたちに人気のヒーローが活躍し、親子で声援を送りました。



↑ステージでゲキレンジャーが勝利のポーズ

小さなシャトルに集中 子育連金田支部バドミントン大会

子育連金田支部バドミントン大会が、10月28日に金田体育館で行われ、約70人の小中学生がシャトルを懸命に追いかけてました。ほとんどの参加者が、初めてのバドミントンでしたが「楽しかったまたやりたい」と、好評でした。



↑ライン際の強烈なスマッシュをレシーブ。

大地とふれあった収穫 秋のチャリティー収穫祭

自然の恵みに感謝するライオンズクラブ主催の収穫祭が、11月11日にふじ湯の里で催されました。メイン会場でステージやバザーが、会場横の畑で大豆やイモの収穫体験が行われ、多くの家族連れでにぎわいました。



↑土に触れ、四季を感じた一日でした。

保健の掲示板

12月16日から1月15日までの保健事業日程

- 12月17日 月 【健康相談】**
健診結果や介護など相談希望者を対象
会場：金田保健センター / 受付：13:30～15:30
 - 12月18日 火 【7～8か月児健診】**
7～8か月児を対象（個人通知します）
会場：コスモス保健センター / 受付：13:00～14:00
 - 12月19日 水 【4～5か月児健診】**
4～5か月児を対象（個人通知します）
会場：コスモス保健センター / 受付：13:00～14:00
 - 12月20日 木 【健康相談】**
健診結果や介護など相談希望者を対象
会場：方城保健センター / 受付：9:30～11:30
 - 12月25日 火 【ポリオ（小児マヒ）予防接種】**
3～18か月児を対象（7歳5か月まで接種可）
会場：方城保健センター / 受付：13:20～14:20
 - 1月8日 火 【ポリオ（小児マヒ）予防接種】**
3～18か月児を対象（7歳5か月まで接種可）
会場：方城保健センター / 受付：13:20～14:20
 - 1月9日 水 【乳幼児相談】**
2か月児と、身体計測や育児相談などの希望者を対象
会場：コスモス保健センター / 受付：10:00～11:00
 - 1月9日 水 【3歳児健診】**
3歳児を対象（個人通知します）
会場：コスモス保健センター / 受付：13:00～14:00
 - 1月11日 金 【健康相談】**
健診結果や介護など相談希望者を対象
会場：コスモス保健センター / 受付：13:30～15:30
 - 1月15日 火 【7～8か月児健診】**
7～8か月児を対象（個人通知します）
会場：コスモス保健センター / 受付：13:00～14:00
- ☎ コスモス保健センター ☎ 28-9500

コスモス健診センターの施設健診申し込み受付中！
健診日：2月までの 月・水・金（祝日を除く）第3回
申し込みはコスモス健診センター（☎ 28-5512）まで。

田川地区休日救急医療センターの年末年始の診療日
健診日：12月31日 月 ～平成20年1月3日 水
受付時間：【外科】9:00～11:30、13:00～16:30
【内科・小児科】上記の時間+18:00～22:30
※ 保険証は忘れずに持参してください。
※ 「田川地区休日救急医療センター」は、石炭記念公園内の「田川メディカルセンター」の中にあります。
☎ 田川地区休日救急医療センター ☎ 45-7199

Event

パノラマたがわ（田川市郡のイベント情報）

【川崎町】 第10回 小さな森のコンサート
12月16日 日 13時開場、14時開演
（川崎町 川崎中学校体育館）
出演：小さな森のオーケストラ・スタイルK
川崎町で第九を歌うバイ合唱団
※ 入場無料、託児あり。
☎ 川崎町役場企画財政課 ☎ 72-3000

【田川市】 電気を消して、アートな夜を「100万人のキャンドルナイト」
12月21日 日 18時～21時（参加費300円）
（田川市美術館、現代美術ギャラリー to.ko.pa.la）
閉館後の美術館でキャンドルを作り、その明かりと音楽の中でおはなし会を行います。事前申し込みが必要です。対象は小学生以上です。
☎ 田川市美術館 ☎ 42-6161



Tax

おさめて安心（12月の税納期限）

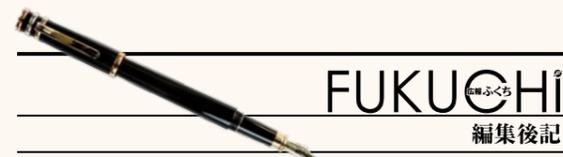
- 国民健康保険税 — 6期 12月25日 四 が納期限です。
- 固定資産税 — 4期 12月25日 四 が納期限です。

Population

ひとのうごき（福智町の人口）

- 人口：26,182人（前月比-1人・前年比-103人）
男性：12,423人 / 女性：13,759人
（転入64人・転出64人・出生21人・死亡22人）
- 世帯：11,127世帯（前月比+9世帯）
※ 平成19年10月末現在（住民基本台帳人口）

お亡くなりになったみなさんのご冥福を、心よりお祈り申し上げます。福智町長・福智町議会議長
※ 本年度から用電をひかえさせていただきます。



▶ 「何か変わったことはありませんか」。方城大非常の著者・織井青吾さんからの電話。28年前、織井さんは執筆中に多くの不思議な体験をしたといいます。「犠牲者が頼ってきますよ」そして「千人の魂が応援してくれます」と。もともと靈感というものが全くないわたしですが、確かに今回の編集では、そのような現象が多々ありました。足音がしたり、トイレの水が流れたり、走行中の車の窓を叩かれたり…。しかし、そんなことよりも1か月もない編集期間で、信じられないくらい資料と情報がそろったことが何より不思議でした。これが亡くなった人の命のメッセージなのだと感じたとき、怪奇現象など少しも怖くはありませんでした。広報ふくちNo.24のテーマは「命」。どうか最後まで、命の尊さを感じ、受け止めてください。（長野）

巻末特集

愛しい人へ

「明日」という日が来るように。飲酒運転ゼロへ

おだやかな海に架かる白い橋。福岡市東区にある「海の中道大橋」。行楽の日には、家族連れの車が行き交います。昨年8月25日の夜、大上さん家族5人が乗る車は、この白い橋から、真つ暗な海へと突き落とされました。酒を飲んだ当時福岡市職員の車が追突。幼い3人の命が奪われました。惨事は全国で反響を呼び「飲酒運転撲滅」と声高に叫ばれ、法も改正。しかし、酒を飲み、ハンドルを握る人が、いまだに後を絶ちません。昨年、全国で飲酒運転の取締を受けた件数は12万5千136件。身近にこのような惨事があった福岡県内でさえ、今年1月から10月末までに307件の飲酒運転事故が発生しています。大切な人を被害者にも加害者にもしないために、愛しい人が命を奪い、奪われないために、もう一度考えてください。自らの意志で防げる「飲酒運転」。そして、かけがえない「命」を。



全長750mの「海の中道大橋」。約15m下に博多湾が広がる。事故の追突は、大上さんの車が歩道をこえ、欄干を突き破るほどの衝撃だった。



ひろあき 絢彬(4歳)、倫彬(3歳)、紗彬(1歳) 三人はわたしたち夫婦の すべてでした。

大上哲央さんかおりさん夫妻

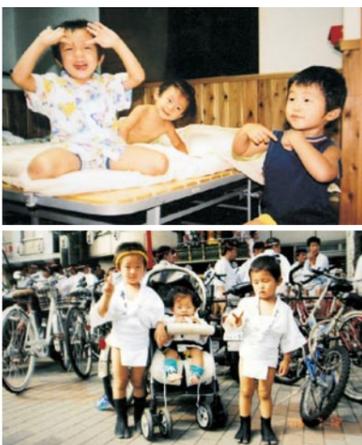
愛おしくてたまらなかつた幼い3人の存在。そこにみんながいるだけで幸せでした。その大上さん家族のすべてを奪った飲酒事故。今回、本紙の趣旨をご理解いただき、事故後初めて、ご自身の声で真相を語っていただきました。

平日いつも帰りが遅い夫・哲央さんの楽しみは3人の寝顔にチュッと口づけをすること。家にはない分、週に1日しかない休日の日曜には、家族みんなでいろんな場所に行きました。哲央さんが運転するRV車は、大上家の第二の家。休みがまとめでとれた日は、九州各地はもろろん、妻・かおりさんの実家がある長野県や、北は北海道の最北端まで走りました。

建設現場で重機を操る哲央さんの姿は、子どもたちのあこがれでした。長男・絢彬くんが幼稚園で描いた似顔絵には「おとうさんのぜんぶがすぎ、ぜんぶかっこいい」と書かれています。普段、家を留守にしがちな哲央さんは、幼稚園でその言葉を見た瞬間、涙があふれたといいます。

妻・かおりさん。プロポーズの時「子どもはたくさん産んでいいですか」と聞き返しました。「いいよ」と哲央さんの返事に、かおりさんも喜んでうなずきました。

平成13年1月17日、かおりさんは待望の赤ちゃんを身ごもります。病院の先生の「おめでとございます」という言葉に、涙が止まりませんでした。不妊治療に通った末に授かった命でした。その後、切迫流産になりかけ、つわりも激しく、1か月で14kgも体重が減るなかで迎えた9月13日、陣痛が始まりました。



左から絢彬くん、紗彬ちゃん、倫彬くん。3人とも大の虫好きで山笠好き。毎日、夕飯づくりも手伝っていました。

転する車に乗り、家族みんなで志賀島で昆虫採集をするのをいつも楽しみにしていました。カブトムシをつかまえては、虫かごを大事そうに抱えていました。

「カブトムシはお盆で終わりだよ」妻・かおりさんは、あまりに夢中な2人に、笑いながらそう言い聞かせました。

お盆の8月14日には「昆虫ワールドカップ2006」が開かれている北九州市の「いのちのたび博物館」に、家族で出かけました。



いのちのたび博物館で世界の昆虫に大はしゃぎでした。

「二人とも本当にうれしそうでした」と夫・哲央さんはふり返ります。そこから、菅生の滝、平尾台へと足を伸ばし、家族みんなで、日が落ちるまで自然を満喫しました。「すごく楽しくて『今度はここにキャンプに来ようか』っていう話も出ました」と妻・かおりさん。その

最期に絢くんも抱きしめてあげたかった。ずっと一緒に生きてきたかった。

ものすごい衝撃の後、気がついたらすでに真っ暗な海の中。哲央さんは、ほぼおぼれた状態のまま水面に出ました。「水」「死ぬ」「助けがない」とそう我に返った妻・かおりさんは、自分の足の下に車があるのを感じ、とっさに

潜ります。しかし、車の上下左右もわからない真っ暗な状態。破損して空いた車体部分を手探りで見つけ、手を伸ばすと紗彬ちゃんのチャイルドシートに触れました。そのまま抱いて、車をすり抜けるようにして海面へ。哲央さんが受け取り、また、かおりさんは潜って、手探りであと2人の子を探しました。柔らかい体に触

れたので、そのまま抱きかかえ、海面でやつと倫彬くんだとわかりました。その間、哲央さんは紗彬ちゃんを立ち泳ぎのまま人工呼吸。かおりさんは倫彬くんを哲央さんに託し、哲央さんの「息を吹き返したよ」という声を聞いて、また、海へと潜りました。「絢、お願いだから、お母さんの手に触って」祈るような気持ちで、車内のあちこちを手で探り続けました。しかし絢彬くんは手に触れませんでした。かおりさんが4回目に潜ったとき、車は無惨にも海底へと沈んでいきました。「泡を出しながら車がすごく遠くまで落ちていきました。夫は流されて2人の子を抱えたまま沈んでいました。もう1回潜って絢を救い出すか、溺れている3人を助けるか。どちらかを選ばしかなかった」。

かおりさんが抱き、子どものあごを肩に乗せるようにして橋のたもとを目指しました。「生きて、生きるよ。かおりさんが声をかけます。そのとき倫彬くんはまだ息をしていました。ようやく橋脚付近にたどり着きますが、滑って上へはあがれません。「いつもの倫じやない」。倫彬くんは肩の上でグッタリとなり、息も感じなくなっていました。その後、通りかかった漁船に助けられ、かおりさんは、紗彬ちゃんと救急車で同じ病院へ運ばれました。「救急車の中で紗彬を見ただけでダメだと思いました。だけど認めたくはなかった。生きている可能性の高い倫彬の病院へ行ったら、着いたらすぐに『亡くなったよ』と聞かれました。『みんな死んじゃった』『みんなダメなの』と、受け入れられませんでした。みんな苦しかったでしょう。もっと、ずっと一緒に生きてかった」。

「このまま時が止まればいいのに」 毎日が幸せで、夫婦の口ぐせでした。

「たくさん子どもが欲しいと言ったけれど、この世にこんなに苦しいことがあるとは思いませんでした。でも、絢彬が生まれたとき、はじめておっぱいをふくませたとき、小さな絢彬を抱いたとき、その一つひとつの出来事が苦しかった陣痛を美しいものへと変えていきました。通り過ぎるあの人も、あの人も『出産された人なんだ』という尊敬の気持ち。女性に生まれてきたこと。わたし自身がこの世に誕生できたこと。生きていことがこんなにも幸せだと感じたこと。今まで通り過ぎてしまっていたことにふと立ち止まって考える機会を与えてくれた絢彬に感謝、感動し、愛おしいこの子を大切に育てようと思いました。子ども

もと話をするときには寄り添うような声かけをしよう。子どもの目線に立って、一緒に驚いたり気ついたりしたい。できる限り抱きしめて、ほおずりやキスをして、頭をなでよう。布おむつで、声をかけ、目をかけ、手をかけよう。絵本もたくさん読もう、たくさんのおもいでいっぱいでした」。

その後、倫彬くん、紗彬ちゃんが生まれ、その想いは膨らむ一方でした。毎日が幸せで「このまま時が止まればいいのにね」という会話が、いつしか夫婦の口癖になっていました。そして平成18年夏、子どもたちはすくすくと成長し、絢彬くんは4歳、倫彬くんは3歳、カブトムシとりに夢中でした。哲央さんが運

日は福智町の隣、田川市内で夕食をとり、家路につきました。事故の11日前のことでした。8月25日金曜日、夜9時。この夏最後のカブトムシとりに志賀島へ出かけました。「また連れて行ってくれるの？」絢彬くんはうれしそうに目を輝かせました。たまたま土曜日に哲央さんの休みがとれたので、翌日から家族みんなで阿蘇へキャンプに行く予定でした。その帰り道、福岡市東区の「海の中道大橋」で、あの事故に遭ったのです。

ずぶぬれのまま、裸足で、かおりさんは立ちつくしました。

「最期に絢くんも抱きしめてあげたかった。みんな家で帰ったかった」。

「絶対に家族を守るんだという一心でした。3人はわたしたち夫婦のすべてでした」。

事故を起こしたのは、今林大被告。当時22歳で福岡市の職員でした。酒を飲んで車を運転し、大上さん家族の車に追突。博多湾に転落させ、3人の幼い命を奪ったのです。これからもずっと一緒に過ごせるはずだった時間、大上さん家族の幸せな時間は、あまりにも身勝手な行為で止められてしまいました。つながっていくはずだった命が、絶切られました。

今林被告は、救助もせず現場から逃走。知人に水を依頼し、数リットルを飲んでいただけでも後日報じられました。飲酒運転という、しかも地方公務員による殺人的行為でした。



→大上哲央さん(34歳)とかおりさん(30歳)夫妻。胸で寝ているのは、今年9月16日に誕生した愛子ちゃん。

厳罰化だけで犠牲者はゼロにならない。 だれもが命の重さを心に 刻んでほしい。

井上保孝さん郁美さん夫妻



井上保孝さん(57歳)郁美さん(39歳)夫妻。今年10月23日に誕生した次子ちゃんには、亡くなった2人の姉のほか、典子ちゃん、晋くん、森くんの兄姉がいます。

女・周子(1歳)は、逃げる事ができずに
焼死しました。「あちゅい」という言葉を残し
て…。助手席にいたわたしは背中と左腕に重
度の火傷を負い、その後も植皮手術のために
入退院を繰り返しています」と、夫の保孝さん。
運転していた当時55歳のトラック運転手は、
前日にウイスキー1瓶の約6割をフェリーの中

女・周子(1歳)は、逃げる事ができずに
焼死しました。「あちゅい」という言葉を残し
て…。助手席にいたわたしは背中と左腕に重
度の火傷を負い、その後も植皮手術のために
入退院を繰り返しています」と、夫の保孝さん。
運転していた当時55歳のトラック運転手は、
前日にウイスキー1瓶の約6割をフェリーの中



で寝酒として飲み、当日、東名高速のサービ
スエリアで缶酎ハイ1缶と瓶に残っていた約4
割のウイスキーをストレートで飲み干していま
した。約1時間の仮眠だけでハンドルを握り、
3車線をまたぎながら約40kmを蛇行。その間
周りのドライバーが通報しましたが、暴走した
まま、井上さんの車に追突して止まりました。
妻・郁美さんは言います。「運転するわたし
以外の3人は、旅の疲れで眠っていました。追
突の衝撃で飛び起きました。「ワァーッ」と
いう声をあげて。何が起きたのかわからない
でも本能的に「逃げなきゃ」と思いました。
ドアは開かず、偶然パワーウィンドウの窓が
開いたので、わたしだけが奇跡的に脱出でき
ました。すぐ娘たちを助けようとしたのですが、
後ろのドアは炎に包まれていました。もしあ
の時、窓が開かなかつたら、妊娠8か月だった
わたしのお腹の中の小さな命も、家族全員の
命が、そこで終わっていたと思います」。

この事故で車内の大半が焼けましたが、次
女・周子ちゃんのチャイルドシートのバックル
が、シートベルトをつけたままの状態で焼け残
っていました。郁美さんは訴えます。
「周子は、最後までシートベルトをしていま
した。世の中のすべての親は、誕生した我が
子を手にした時から、何とかその小さな命を
守ろうと、事故に遭わないように、様々なル
ールを教えます。子どもは大人たちから教わ
ったルールを守ろうとしていました。ルールを
守れなかったのは、34年間も大型トラックを
運転していたプロのドライバーのほうでした」。

奏子と周子は炎に包まれました。
「あちゅい」という言葉を残して…。

二人の命日に成立した刑法改正案。

加害者は「業務上過失致死傷罪」と「道路
交通法違反(酒酔い運転)」の罪で検察庁に送
致されました。検察庁は起訴し、懲役5年を
求刑しますが、東京地方裁判所で懲役4年の
実刑判決が下りました。「あと70年、80年と生
きられたであろう2人の娘の命の重さが懲役
4年。わたしたちはがくせんとしました。控
訴も棄却されてしまいました」。夫・保孝さん
は、刑事裁判を通じて大きな疑問を抱きます。
「わたしたちから見れば、殺人と何ら変わり
ません。殺人罪なら無期懲役や死刑もありま
す。しかし、業務上過失致死傷罪は、人を何
人あやめても最高刑が懲役5年。しかも、加
害者は常習の飲酒運転手なのに、不注意で人
をあやめてしまったという業務上過失致死傷
罪が適用されてしまう」。保孝さん・郁美さん
は、事故後、同じ想いの遺族と「業務上過失

致死傷罪」の法定刑見直しを求める署名活動
を展開します。法務大臣に提出した署名数は
37万4千を超えました。その結果、平成13年
11月28日の国会で「危険運転致死傷罪」の新
設を含む刑法改正案が成立。くしくもこの日
は、奏子ちゃんと周子ちゃんの命日でした。
この法改正で、悪質危険な行為で事故を起
こし、人を殺傷した場合は、過失犯ではなく
故意犯として扱われ、死亡させた場合は懲役
15年、人を傷つけた場合は懲役10年と厳罰化
されます。平成17年からは、それぞれの最高
刑の懲役が、5年間延長されました。
しかし、保孝さんは指摘します。「法律が抑
止力となるよう見守ってききましたが、新たな
課題が生まれています。飲酒運転の死亡事故
は減っていますが、一方で法律施行前と5年後
とで、ひき逃げが4割も増加しています。アル
コールが抜けてから自首する『飲酒ひき逃げ』
や『事故後に飲んだ』と言い逃れする『重ね
飲み』など、悪質な『逃げ得』が発生しています。
今年9月に『救護義務違反(ひき逃げ)』は懲
役10年以下、罰金は百万円以下に引き上げら
れましたが、まだ法律の抜け穴がふさぎされ
ていない。そして、法律がいくら厳罰化されて
も犠牲者は決してゼロにはなりません。さらに
命の大切さを訴えなければと思っています」。
郁美さんも命の重さを伝える活動を全国で
展開しています。「法の改正も本当に大切で
すが、それ以上に、命の重さを伝えなければな
りません。わたしたちは少しでもそれをわか
っていたらこうと、全国各地で『生命のメッセ



↑ゴールデンウィークに近くの公園で仲良く遊ぶ、奏子ちゃんと周子ちゃん。2人もピアノが大好きでお唄が上手な姉妹でした。



↑奏子ちゃん周子ちゃんの等身大パネルで「生命のメッセージ展」について説明する井上郁美さん。足下には二人が生きていた証ともいえる小さな靴がならべられていました。

ージ展」を開いています。犯罪や交通事故件
数は数字で扱われる面が多いですが、そうで
はなく、一つひとつの命がどれだけ重いかとい
うことをだれもが受け止めなければならぬ
と思うのです。命を奪う事故がゼロにならな
い限り「減った」と喜ぶことはできません」。
「もうこれ以上、同じような被害者を出して
欲しくない」と活動している保孝さんは、い
まだ、毎日のように伝えられる飲酒事故の報
道が、何よりもつらいと言います。「わたした
ちは、あの日以来、もう二度と以前と同じ生
活に戻れることはできません。子ども2人を目
の前で失った喪失感…。体の傷はお見せでき

ますが、負ってしまった心の傷はどなたにもお
見せできません。わたしたちは、この傷を一生
背負っていくかなければならないのです。何の罪
も無い子どもたちが、ルールを守らない大人
の犠牲になり、輝かしい未来を断ち切られて
しまう…。このようなことは絶対にあつてはな
りません。人の命は奪っても奪われてもいけ
ないのです。そういう世の中を変えていくのは、
わたしたち大人の責任だと思っています」。
飲酒運転撲滅と命の尊さを訴え続ける井上
さん夫妻の活動は、天国の奏子ちゃんと周子
ちゃんに見守られながら、犠牲者がゼロにな
るその日を夢見て、今日も続いています。

命は奪っても奪われてもいけない。

すべての愛しい人たちに

「明日」という日が来るように。

「命」をつなぎたい。飲酒運転ゼロへ。

大上さん家族が被害に遭った事故は、飲酒運転撲滅の意識を全国的に高めました。しかし、あるとき失われた幼い3人の尊い犠牲を知っているながらも、心ない大人たちは、いまだに酒を飲み、ハンドルを握っています。だれもが命の重さを忘れなければ、飲酒運転は必ずなくせるはず。再び大上さん夫妻にお話を伺いました。



→家族みんなそろって。大上さんのご自宅で。

自

分が生まれた病院を知っていた
絳彬くん。大上さん家族が事故に
遭った日、その病院の前を通過し
ました。その時、絳彬くんはたずねます。

「赤ちゃんは、どうやって生まれてくるの？
絳彬ちゃんが生まれてくるときは絳彬くんも
見ていい？」かおりさんはやさしくほほ笑み
ました。「いいよ。」「やったあ」。絳彬くんは本

愛しいからこそ、生きていくけます。

の年も、大好きなカブトムシに会う日がくる
はずでした。それが、飲酒運転という無差別
的な行為で絶たれてしまいました。たくさん
の思い出が詰まったあの車もすべて、海の中に
沈められました。かおりさんはあの事故以来、
大切な思い出の品は持ち歩かないようにして
いるといいます。

「絳彬、倫彬、紗彬の命は、その子、その次
へと、ずっと続いていく命でした」と夫・哲央

さん。あの事故がなければ、今も家族団らん
の場に3人の声が響いているはずでした。

「大事に、本当に大切に育ててきたから、3
人を愛しいと思う気持ちは今も変わらず、ふ
くらむばかりです。わたしは、自分が愛して
いたように、子どもたちが、今でも愛してく
れていると思えるから生きていきます。3人
のことを思わない日は1日もありません。子
どもたちへの思いが、生きることの支えだとい
う哲央さん。事故のフラッシュバックは毎日突
然、どんな状況でも意識に反して目の前に現
れるといいます。

「あれから、ただ、耐え忍ぶだけです。この
気持ちは当事者でなければとうていわからな
いと思います。家庭では子どもたちとの楽し
かった思い出ばかりです」とかおりさん。2
人で約束したわけではなく、普段、家庭であ
の事故の話をすることはないといいいます。

大上哲央さんは言います。「わたしたちのよ
うな思いをほかの人にさせたくはありません。
身勝手な行動で命を奪わないで欲しい」。
尊い犠牲があるにもかかわらず、いまだに
悲惨な飲酒事故は後を絶ちません。大人たち
は、ただ「乗る」か「飲む」かのどちらかを、
きっちり選べば良いだけなのに、一緒にして



福岡県警察本部
交通部 管理官
高山 勲 警視

尊い命の犠牲があるにもか
かわらず、県内では月
おおよそ30件の飲酒事故
が発生しています。飲酒
運転はなくせるという信
念のもと、撲滅に全力を
あげて取り組んでいます。

しまう。そして、飲めば飲むほど、一緒にでき
ると思いつくことが、何の罪もない命だけで
はなく、その先も続く未来も奪っているのだ
です。そして「大丈夫だよ」と無責任に背中を
押すことも、ただ黙って飲酒運転を見過す
ことも「共犯」という「犯罪」です。

毎日の行動は「無意識」に行っている事も
多いと思います。しかし、飲酒して、ハンド
ルを握るか、握らないかは「意識的」なもの。
飲酒運転という行為は、道のすぐ先が、断崖
絶壁であることを知りつつ足を進めることで
す。「たった一杯」と安易に考えている人がい
るなら、握ろうとしているのはハンドルではな
く、それが、鋭利なナイフであるということ
を自覚してください。楽しい時間は、楽しい
ままで。どうか、その時間を思い出すのがつ
らい「後悔のとき」に変えないでください。

今

年の9月16日、大上家に新
しい命が誕生しました。絳彬
くん、倫彬くん、紗彬ちゃん、
そして、ここに生まれたかけがえのない
命…。すべてのわが子への愛おしさを込
めて「愛子」と名付けられました。

いま大上さん夫妻は、4人とも抱きし
めるような気持ちで、愛子ちゃんをはぐ
くんでいます。これから、愛子ちゃん
が大きくなって「命」の意味を理解してく
れるようになったら、絳彬くん、倫彬く
ん、紗彬ちゃんの納骨を家族みんなで行
う予定です。

大事な人だからこそ、被害者にも加
害者にもしたくない…。大切な命だから
こそ、奪うことも奪われることもないよ
うに…。人は、意識を変えることで「明
日」も変えることができるはず。です。
わたしたちのすべての愛しい人たち
に「明日」という明るい日が来るように。
決して忘れないでください。命の重さを。





皆川ヨ子さんが世界最高齢者に認定された

1月29日

「健康長寿の日」の制定に向けて

生

前は「ありがとサンキユ」が口ぐせで、いつも感謝の気持ちを表し、時には冗談を交えながら、わたしたちに健やかに生きることをすばらしさを教えてくれた皆川ヨ子さん。今年8月13日、静かに、眠る

ようにこの世を去りました。

町では、その皆川ヨ子さんがイギリスのギネス社から世界最高齢者に認定された1月29日を「健康長寿の日」として定め、町をあげて健康について考える日にしたいと、現在、企画立案を進めています。

忘れない。いのちの輝き。

ヨ子さんが教えてくれた

生きることのすばらしさ。

皆川ヨ子さんの長寿世界一という記録、そして、その記録以上に印象に残るこぼれるような、あの笑顔の記憶…。町の誇りであり、健康長寿の象徴的存在だった皆川ヨ子さんは、わたしたちの心の中に、いつまでも生き続けます。



認定証(上)と名誉町民章

【皆川ヨ子さん】 明治26年1月4日、福智町上野生まれ。53歳で夫を亡くし、野菜や花の行商をして4男1女を育て、孫7人、ひ孫12人、玄孫2人に恵まれた。17年4月に長寿日本一、18年1月29日に世界最高齢に認定される。7月2日に福智町第1号となる名誉町民章と県知事の最長寿栄誉表彰、ギネス・ワールド・レコーズ社(英)の世界最高齢者認定証が手渡された。8月13日、眠るように114年の生涯を閉じた。写真は世界最高齢者に認定された翌朝「ありがたいこと」と手を合わせて笑った皆川ヨ子さん。



▼「生」と「死」：人それぞれに死生観は異なっていると思うが、この世に生を享けたという

うことは、共通の事実である▼生ある者は必ず死あり、とか生は死の始め、と言われているように、生命は永遠のものではない。また、死生命あり、と論語に記されているが、人の生死は天命で、人の力ではどうすることもできないということも真実であろう▼しかし、こと「死」に限れば、いかに天命といえども、家族や関係者にとつて割り切れない気持ちになることの方が、多いのではないだろうか。今月号の広報紙で特集として扱っている炭鉱事故や交通事故にまきこまれての非業の死をとげることなど、その最たるものだと思う。天寿を全うし、安らかな眠りにつく人もいれば、予期せぬ最期を迎える人もいる▼悠久の時の流れから見れば、人の一生は微小なものかも知れない。だからと言って、粗末にされていいはずはなく、むしろ地球より重い存在として、一人ひとりの生命が大切にされるべきだと思っている。世界中で平和を願う声は大きいですが、現実はそのような状況とは程遠い。理不尽な争いで、無数の生命を犠牲にしたり、一方的な論理で暴力を正当化し、一瞬にして多くの人を死にいたらしめる…こんなことが繰り返されている▼生は寄なり死は帰なり、という言葉が、せめて授けられた生命を、誰もが精いっぱい生き抜いて、天地の本源に帰る。そんな世の中にするために、わたしたちは互いの英知を傾けていかねばならない。

浦田 弘二